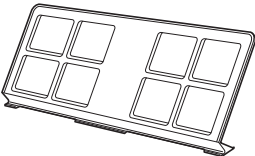
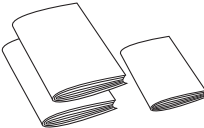
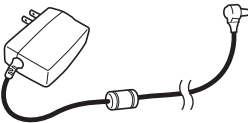
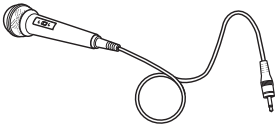


取扱説明書（保証書別添） お読みになったあとも保証書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意 本機をお使いになる前に、必ず別紙の「安全上のご注意」をお読みください。

付属品一覧

 譜面立て	 楽譜集(2冊) 歌詞集(1冊)	 ACアダプター: AD-E95100L	 オーディオケーブル
 マイク	 マイクホルダー マイクと一緒に梱包されています。	 マイクホルダーベース マイクと一緒に梱包されています。	リーフ類 - カシオ電子楽器保証書 - 安全上のご注意 - アフターサービス窓口について - Appendix - その他

- 欠品、破損、紛失等の場合は、ご購入された販売店にお問い合わせください。(ACアダプター AD-E95100Lは別売品で購入可能)
- 付属品のデザインと内容は、予告なく変更されることがあります。

別売品のご案内

商品名	品番	商品名	品番	- カシオ電子楽器取扱店で購入可能。 - 店頭のカシオ電子キーボードカタログでより詳しい情報がご覧になれます。 https://casio.jp/emi/catalogue
ヘッドホン	CP-16	スタンド	CS-4B	
サステインペダル	SP-3		CS-7W	
	SP-20	イス	CB-5	
ACアダプター	AD-E95100L		CB-7	
			CB-30	

本書の内容について

- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書のイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

保証・アフターサービスについて

保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています

修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って取扱説明書等に記載の「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、取扱説明書等に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

● 保証期間が過ぎているときは

取扱説明書等に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

あらかじめご了承くださいこと

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。
- 録音機能などのデータ記憶機能付きのモデルでは、修理のとき、故障原因の解析のため、データを確認させていただくことがあります。
- 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内の「修理お申込み先」にご依頼ください。

アフターサービスなどについておわかりにならないときは

取扱説明書等に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

CEマーキングは、ヨーロッパ地域の基準適合マークです。



Manufacturer:
CASIO COMPUTER CO., LTD.
6-2, Hon-machi 1-chome, Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan
Responsible within the European Union:
Casio Europe GmbH
Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany
www.casio-europe.com

ご使用上の注意

別紙「安全上のご注意」と併せてお読みください。

■設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所（これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります）。

■本機のお手入れについて

- お手入れにベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
- 鍵盤などのお手入れは柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞ってお拭きください。

■付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

■音のエチケット

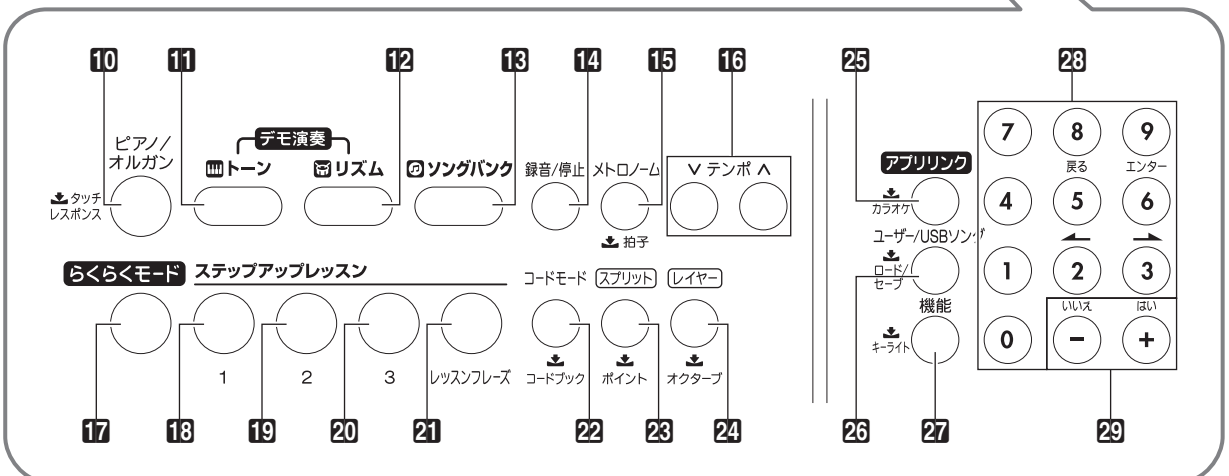
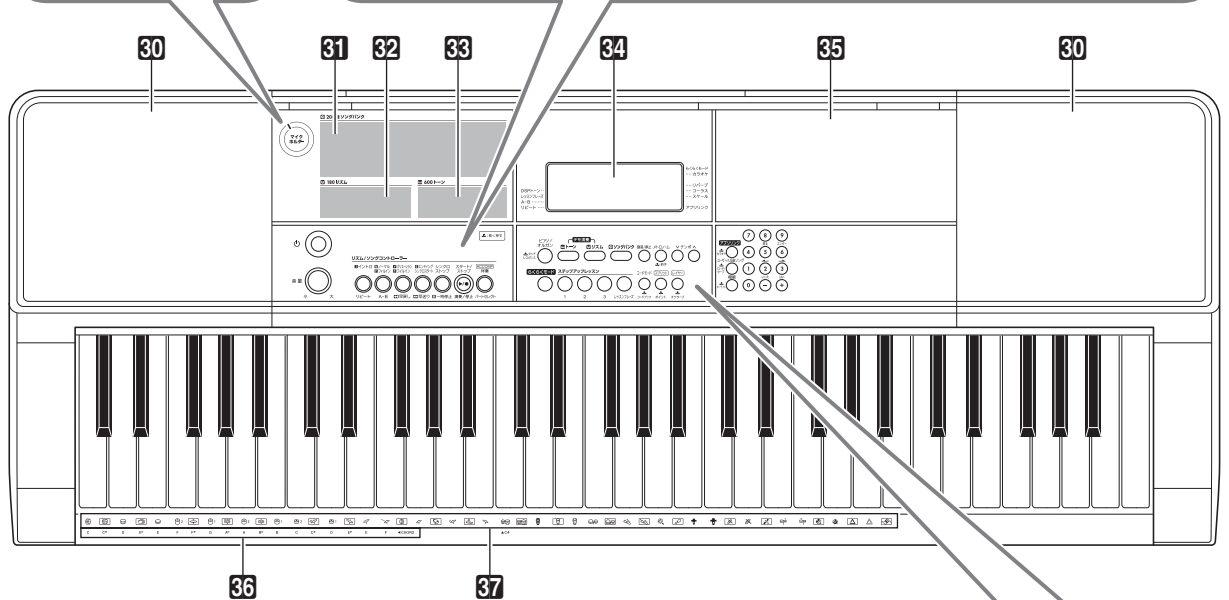
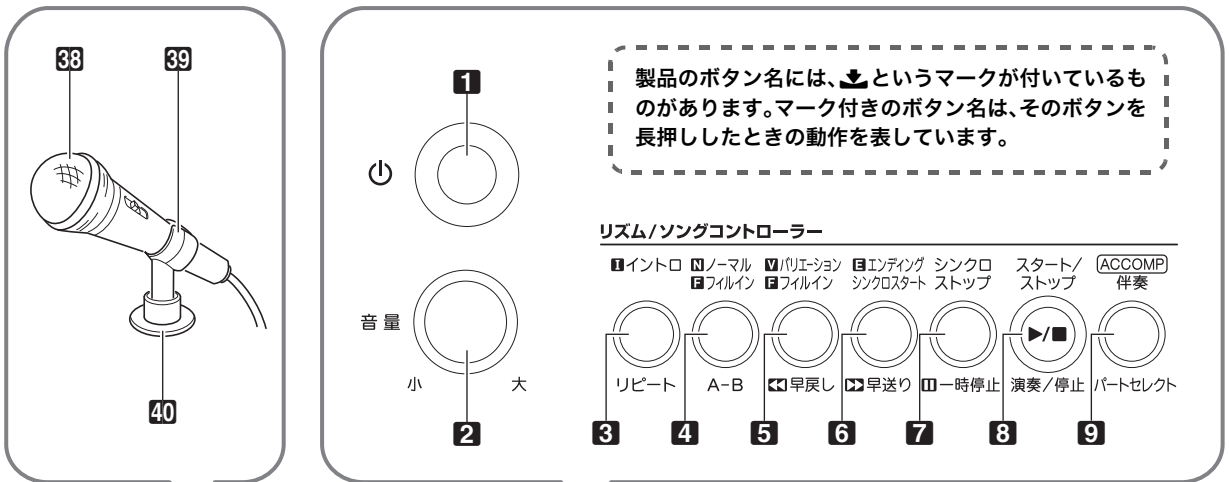
楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

目次

全体ガイド	2
数字ボタン(23)、[-]/[+]ボタン(24)の使いかた	4
[5] (戻る) ボタンの長押しについて	4
工場出荷時の状態に戻すには	4
演奏の準備	5
電源の準備	5
譜面立て、マイクの準備	6
演奏してみよう	7
電源を入れて演奏してみよう	7
▲“オマチクダサイ”表示中のご注意	7
ヘッドホンを使う	7
鍵盤を押す強弱で音量を変える(タッチレスポンス)	8
鍵盤の光を消す	8
液晶画面のコントラストを調整する	8
メトロノームを使ってみよう	9
テンポ(速さ)を変えるには	9
音を変えて弾いてみよう	10
いろいろな楽器の音色で弾いてみよう	10
2つ以上の音色を同時に鳴らす (レイヤー、スプリット)	10
音の響きを変えるには(リバープ)	12
音に厚みをつけてみよう(コーラス)	12
音を補正してみよう(イコライザー)	12
ペダルを使ってみよう	13
音の高さを変えて弾いてみよう(トランスポーズ、 チューニング、オクターブシフト)	13
ソング(内蔵曲)を鳴らそう	14
デモを聴いてみよう	14
ソングを1曲ずつ聴いてみよう	15
ソングを増やす(ユーザーソング)	17
USBメモリーのソングを再生する	17
ソングに合わせてマイクで歌おう(カラオケ機能)	17
ソング(内蔵曲)で曲をマスターしよう	18
練習するソング、パートを選ぶ	18
らくらくモード	19
レッスン1~3をはじめよう	19
ガイド無しで演奏してみよう	20
曲を分けて練習してみよう(レッスンフレーズ)	21
レッスン中のさまざまな設定	21
自動伴奏をバックに演奏しよう	23
リズムパートだけを鳴らそう	23
すべてのパートを鳴らしてみよう	23
自動伴奏を使いこなそう	25
お勤めの音色やテンポにする (ワンタッチプリセット)	26

ミュージックプリセット	27
コード(和音)の音を調べる(コードブック)	27
演奏を録音してみよう(レコーダー)	29
演奏を録音・再生する	29
演奏を重ねて録音する	29
トラックを消音する	30
録音の待ち状態で、録音先を変える	30
レッスン演奏を録音する	31
曲を消去する	31
特定のトラックを消去する	32
録音したデータを外部機器に保存する	32
機能ボタン(27)で機能設定する	33
鍵盤の音律(スケール)を変えてみる	35
液晶画面の鍵盤表示	35
本機に記録されているデータをまとめて消去する	36
USBメモリーを使用する	37
USBメモリーを本機に装着する・取り外す	38
USBメモリーをフォーマットする	38
本機のデータをUSBメモリーに保存する	39
USBメモリーから本機へデータを読み込む	39
USBメモリーのデータを消去する	40
USBメモリーのデータ名を変更する	40
一般の曲データをパソコンでUSBメモリーに コピーする	41
使用できる文字一覧	41
アプリケーションとリンクして使おう (アプリリンク)	41
専用アプリ(ソングバンクプラス)を ダウンロードする	41
USBケーブルを使う	41
オーディオケーブルを使う	42
エラーメッセージ一覧	43
他の外部機器と接続する	43
パソコンとつなぐ	43
各種MIDI設定	44
本機のデータをパソコンに保存する/ 本機のソングを増やす	45
オーディオ機器とつなぐ	45
資料	46
困ったときは	46
エラー表示一覧	48
製品仕様	49
ソングリスト	51
ドラム音色リスト	53
指定できるコード種一覧	57
コード例一覧	58
MIDIインプリメンテーション・チャート	

全体ガイド

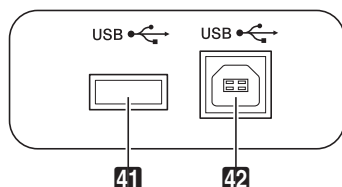


マークの数字は参照ページです。

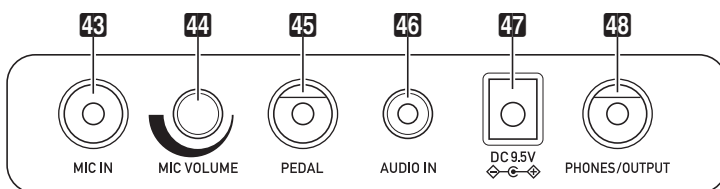
- 1 電源 ボタン 7
- 2 音量つまみ 7
- 3 イントロ、リピートボタン 16, 25
- 4 ノーマル フィルイン、A-Bボタン 25
- 5 バリエーション フィルイン、早戻しボタン 15, 25
- 6 エンディング/シンクロスタート、早送りボタン 15, 25
- 7 シンクロストップ、一時停止ボタン 15, 26
- 8 スタート/ストップ、演奏/停止ボタン 14, 23
- 9 [ACCOMP] 伴奏、パートセレクトボタン 18, 23, 27
- 10 ピアノ/オルガン、タッチレスポンスボタン 8, 10
- 11 トーンボタン 10
- 12 リズムボタン 23
- 13 ソングバンクボタン 15
- 14 録音/停止ボタン 29
- 15 メトロノーム、拍子ボタン 9
- 16 テンポボタン 9
- 17 らくらくモードボタン 19
- 18 ステップアップレッシン1ボタン 19
- 19 ステップアップレッシン2ボタン 20
- 20 ステップアップレッシン3ボタン 20

- 21 レッスンフレーズボタン 21
- 22 コードモード、コードブックボタン 24, 27
- 23 スプリット、ポイントボタン 11, 12
- 24 レイヤー、オクターブボタン 11, 14
- 25 アプリリンク、カラオケボタン 17, 41
- 26 ユーザー /USBソング、ロード/セーブボタン 17
- 27 機能、キーライトボタン 8, 33
- 28 数字ボタン 4
- 29 ー、+ボタン 4
- 30 スピーカー
- 31 ソングバンクリスト
- 32 リズムリスト
- 33 トーンリスト
- 34 液晶画面
- 35 小物台
 - 少し傾斜していますので、置いた物がすべり落ちないように注意してください。
 - コップなど液体の入ったものは置かないでください。
- 36 コードルート音名 23
- 37 打楽器イラスト 10
- 38 マイク 6
- 39 マイクホルダー 6
- 40 マイクホルダーベース 6

■背面部

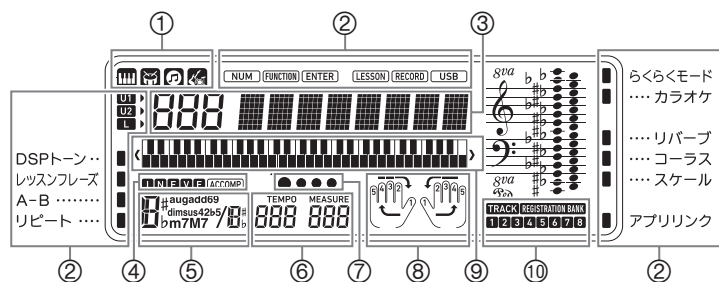


- 41 USBメモリー端子 38
- 42 USB端子 44



- 43 マイク入力 MIC IN端子 6
- 44 マイクの音量 MIC VOLUMEつまみ 6, 17
- 45 ペダル PEDAL端子 13
- 46 オーディオ入力 AUDIO IN端子 42, 45
- 47 電源端子 (DC 9.5V) 5
- 48 ヘッドホン / アウトプット PHONES/OUTPUT端子 7, 45

■液晶表示部



- ① トーン/リズム/ソングバンク/ミュージックプリセットインジケータ
② パートインジケータほか、各種インジケータ
③ 番号・設定値/名称表示
④ IN F V E (自動伴奏の種類) インジケータ※/ACCOMP (自動伴奏) インジケータ
⑤ コード名表示
⑥ テンポ・小節表示
⑦ 拍表示
⑧ パート・運指表示
⑨ 鍵盤表示
⑩ トラックインジケータ
- ※ I: イントロ、N: ノーマル、F: フィルイン、V: バリエーション、E: エンディング

数字ボタン(28)、[-]/[+]ボタン(29)の使いかた



番号や数値



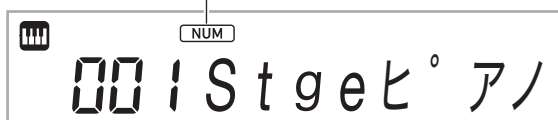
数字ボタン

数字ボタンを押すと、選びたい番号や数値を入力できます。

- 数字ボタンを押して、表示されている数値と同じ桁数を入力します。

例：音色番号001を選ぶ場合は「0」→「0」→「1」と入力する。

NUMインジケータ



- 数値の入力中に、**27機能**を押すと入力中の値が選ばれます。
例：音色番号010を選ぶ場合は、「1」→「0」→ **27機能**
- 入力をキャンセルする場合は、数字ボタンの[5] (戻る) を長押しします。

メモ

- 液晶画面のNUMインジケータが消灯している場合は、数字ボタンの[0]を押してNUMインジケータを点灯させてから、数値を入力します。

[-]、[+]ボタン

[-]を押すと表示中の番号や数値が1減り、[+]を押すと1増えます。ボタンを押したままにすると、連続的に増減します。また、両方のボタンを同時に押すと初期値、またはお好みの数値になります。
負の値を設定できる項目の場合、入力中で数値が点滅している間に[-]を押すと、数値の先頭に「-」が追加され、負の値になります。数値が点滅している間に[+]を押すと、再び正の値になります。

[2] (←)、[3] (→)、[5] (戻る)、[6] (エンター) ボタン

液晶画面のNUMインジケータが消灯している場合、操作内容によっては、[2] (←)、[3] (→)、[5] (戻る)、[6] (エンター) ボタンが有効になります。

[5] (戻る) ボタンの長押しについて

機能ボタン(27)で各機能を設定したあと、設定を終了させるには、[5] (戻る) を長押しします。詳しくは33ページ「機能ボタン(27)で機能設定する」を参照してください。

工場出荷時の状態に戻すには

本機のデータや設定などシステムの内容をすべて初期化して、工場から出荷したときの状態に戻すことができます。33ページ「機能ボタン(27)で機能設定する」の機能番号58をご参照ください。

演奏の準備

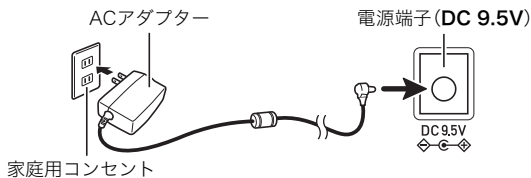
電源の準備

本機は電源としてACアダプターか乾電池をご使用できますが、基本的にはACアダプターをご使用されることをお勧めします。

ACアダプターを使う場合

本機指定のACアダプター(JEITA規格・極性統一形プラグ付き)を使用してください。他のACアダプターを使用すると故障の原因になることがあります。

ACアダプターの型式: AD-E95100L
(JEITA Standard plug)



重要

- ACアダプターを差したり抜いたりする前に、必ず本機の電源を切ってください。
- 長時間ご使用になりますとACアダプターが若干熱をもちますが、故障ではありません。
- 断線防止のため、コードになるべく負荷がかからないようご注意ください。



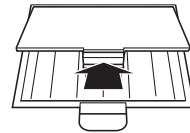
- 本機の電源端子(DC 9.5V)に、金属片や鉛筆などを入れないようにご注意ください。これらが端子に入ると、事故の原因になります。

乾電池を使う場合

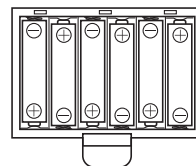
重要

- 乾電池を入れる前に、必ず本機の電源を切ってください。
- 乾電池は市販の乾電池をご使用ください(オキシライド乾電池などのニッケル系一次電池は使用しないでください)。

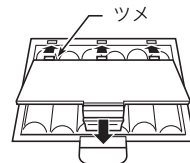
1. 本機の裏側にある電池ボタンをはずします。



2. 市販の単3形乾電池、6本を電池ケースに入れます。イラストに合わせて⊕⊖の向きを間違えないように入れてください。

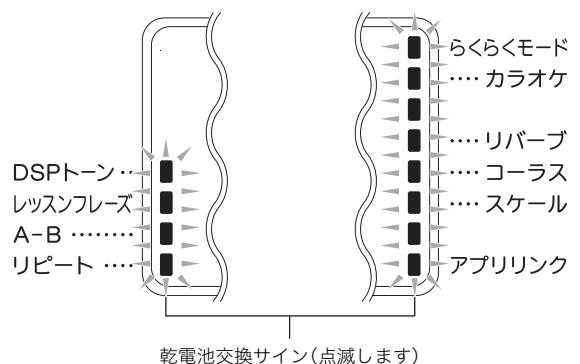


3. 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。

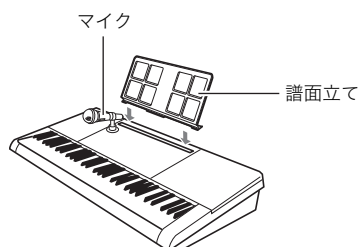


■乾電池交換時期のお知らせ表示

乾電池が消耗してくると以下の表示が点滅しますので、新しい乾電池と交換してください。



譜面立て、マイクの準備

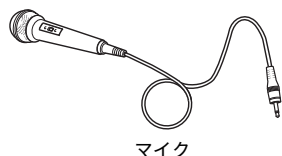


マイクの取り付けかた

❗重要

- 接続する前に、本機とマイクの電源を切ってください。

1. 付属品のマイク、マイクホルダー、マイクホルダーベースを確認してください。

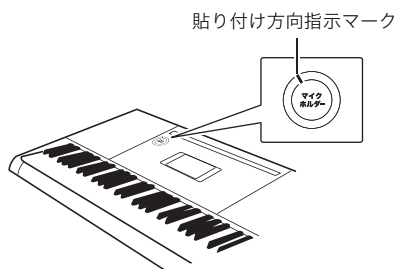


マイクホルダー

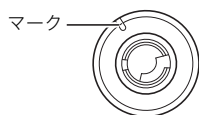


マイクホルダーベース

2. 本機の左上側にある「マイクホルダー」と書かれた部分を柔らかい布などでふいて、汚れを落とします。



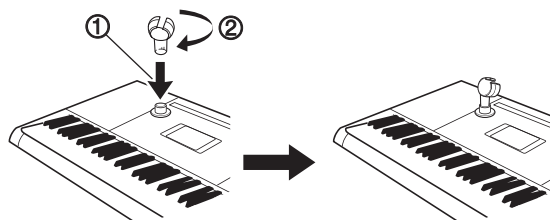
3. マイクホルダーベースの裏面の紙をはがして、本機の手順2の図の場所に貼り付けます。
このときマイクホルダーベースのマーク(下図)が、手順2の図の貼り付け方向指示マークにあうように貼り付けてください。



4. 30分～1時間ほど力を加えずにそのまま置いてください。

この間に力を加えると、はがれやすくなりますのでご注意ください。

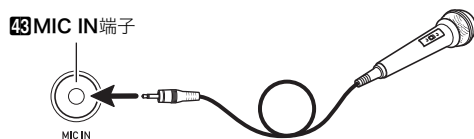
5. マイクホルダーの凸部をマイクホルダーベースに差し込み(下図①)、右回りに回します(下図②)。



6. マイクをマイクホルダーに差し込んで固定します。

- マイクのケーブルをマイクホルダーに通してから、マイク本体を差し込んでください。

7. 付属のマイクを接続します。



メモ

- 市販のダイナミックマイクもご使用になれます。

8. 本機の音量を小さくしておきます。

9. マイクの電源を入れてから、本機の電源を入れます。

- マイクを使うときは、**44 MIC VOLUME**つまみでマイクからの音声レベルを調整しておきます。

メモ

- マイクは電源を入れて数秒後から使用してください。
- キーンという音(ハウリング)が出るときは、マイクの手先を手でおおわないようにして、本機のスピーカーから離してください。マイクホルダーにマイクを固定している場合には、**44 MIC VOLUME**つまみでマイクの音量を下げるか、またはマイクの電源をお切りください。
- ノイズ(雑音)が出るときは、蛍光灯などからマイクを離すようにしてください。

演奏してみよう

電源を入れて演奏してみよう

1. **1** (電源)を押します。

電源が入ります。

- 電源を切るには、もう一度**1** (電源)を長押しします。

2. 鍵盤を弾いてみましょう。また**2**音量で音量の調整をしましょう。



重要

- **1** (電源)を軽く押すと、液晶画面が一瞬点灯し、電源が入らない場合がありますが故障ではありません。その場合は**1** (電源)をしっかりと押し直してください。
- 本機の電源を切ると、音色やリズム番号などの各種設定が初期化されます。

メモ

- **1** (電源)ボタンで電源を切ったあとも、本機は微電流が流れているスタンバイ状態になっています。本機を長時間使用しないと、あるいは落雷のおそれがあるときは、必ずACアダプターをコンセントから外してください。

▲“オマチクダサイ”表示中のご注意

液晶画面に“オマチクダサイ”と表示されているときは、本機の操作を一切行わないでお待ちください。

- “オマチクダサイ”表示中は、本機内部でデータの保存処理を行っています。このとき本機の電源が落ちると、本機に記録しているデータが破損・消失する恐れがあります。

オートパワーオフ機能

本機を使用中に30分間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。

■オートパワーオフ機能をキャンセルして使う

コンサートなどで演奏の合間に電源が切れないよう、オートパワーオフ機能をキャンセルして使用できます。

33ページ「機能ボタン(**27**)で機能設定する」の機能番号55をご参照ください。

電源切り忘れお知らせ機能 (ACアダプター使用時のみ)

ACアダプターで使用中に6分間何も操作しないと、電源切り忘れ防止のために鍵盤が光ります(乾電池使用時は、この機能は作動しません)。

■電源切り忘れお知らせ機能をオフにする

コンサートなどで演奏の合間に鍵盤が光らないよう、お知らせ機能をオフにして使用できます。

1. **27**機能を押して、**23**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“ソノタセッテイ”と表示させます(4ページ)。

ソノタセッテイ

2. **23**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。

3. **23**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“キリワスレツウチ”と表示させます。

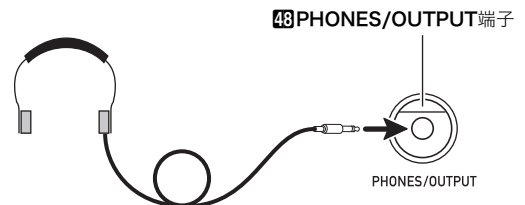
キリワスレツウチ

4. **29**[－]を押して、オフに設定します。

ヘッドホンを使う

ヘッドホンを使用すると内蔵スピーカーから音が出なくなり、夜間でも周囲に気兼ねなく演奏が楽しめます。

- 本機の音量を絞ってから、ヘッドホンを接続してください。



メモ

- ヘッドホンは本製品に付属されておりません。
- 別売または市販のヘッドホンがご使用になります。

重要

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害になる恐れがあります。
- ヘッドホンのコードを本機から抜くときは、変換プラグだけを本機に残さないようにご注意ください。

鍵盤を押す強弱で音量を変える
(タッチレスポンス)

タッチレスポンス機能とは、鍵盤を押す強さ(速さ)で音量を変化させる機能です。タッチレスポンス機能を使うと本物のピアノのように鍵盤を押す強さ(速さ)で音量が変化し、演奏の表現が豊かになります。

タッチレスポンスの感度を変える

1. **10**ピアノ/オルガン(⬇️タッチレスポンス)を押し続けると、タッチレスポンスの設定値が以下の表のように変更されます。
- その設定値で良ければ、**28**(数字ボタン)の[5](戻る)を押して設定を終了します。

設定値	設定の種類	内容	10 ピアノ/オルガン長押し後の設定値
1	オフ	タッチレスポンスを解除します。鍵盤を押す速度が変化しても音量は一定のままです。	オフになる直前に選択していた設定値(ライト、ノーマル、ヘビーのいずれか)
2	ライト	弱めに弾いても大きな音が出ます。	オフ
3	ノーマル	標準的な設定です。	オフ
4	ヘビー	強めに弾いて、標準の音が出ます。	オフ

例：現在の設定がノーマルの場合
10ピアノ/オルガンを長押しすると、オフになります。その状態でもう一度**10**ピアノ/オルガンを長押しすると、ノーマルに戻ります。

2. **28**数字ボタン、**29**[-]または[+]を押して、タッチレスポンスの感度を変更します(4ページ)。

鍵盤の光を消す

この楽器は演奏や曲の自動演奏などに合わせて鍵盤が光ってガイドする機能がありますが、鍵盤を光らなくさせることができます。

1. 液晶画面に“キーライト”と表示されるまで、**27**機能(⬇️キーライト)を押し続けます。

キーライト

2. **29**[-]を押して、オフに設定します。

液晶画面のコントラストを調整する

1. **27**機能を押して、**28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“ソノタセッテイ”と表示させます。

ソノタセッテイ

2. **28**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
3. **28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“コントラスト”と表示させます。

コントラスト

4. **28**数字ボタン、**29**[-]または[+]を押して、コントラストを調整します(4ページ)。
- コントラストの設定範囲は1～17です。

メトロノームを使ってみよう

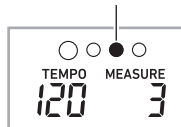
メトロノームを使うと一定の間隔で音を刻みますので、演奏や練習のときにテンポを正しく保つことができます。自分にあったテンポで練習しましょう。

スタート/ストップ

1. **15**メトロノームを押します。

メトロノームがスタートします。

音にあわせて移動します



2. もう1度**15**メトロノームを押すと、メトロノームが止まります。

拍子を変える

曲の拍子に合わせて1拍目に「チーン」と鳴らし、それ以外の拍では「カチ」と鳴らすことができます。

- 拍子は、0～9拍子から選べます。

1. 液晶画面に「ヒョウシ」と表示されるまで **15**メトロノーム (👇拍子) を押し続けます。

ヒョウシ

2. **28**数字ボタン、**29**[-]または[+]を押して、拍子の数を入力します。

- 0拍子を選ぶと「チーン」と鳴りません。拍子を気にすることなく練習したいときに使います。



- 機能ボタンで設定することもできます。33ページ「機能ボタン(**27**)で機能設定する」の機能番号11をご参照ください。

メトロノームの音量を変えるには

33ページ「機能ボタン(**27**)で機能設定する」の機能番号12をご参照ください。

テンポ(速さ)を変えるには

1. **16**テンポを押します。

“テンポ”が表示されます。

- **✓**を押すとテンポが遅くなり、**△**を押すとテンポが速くなります。押し続けると連続して変えられます。
- **✓△**を一緒に押すと、そのときに選ばれているソングやリズムの初期値に戻ります。
- “テンポ”が表示されている間は、**28**数字ボタン、**29**[-]または[+]でもテンポ数を変えることができます。

例: テンポ89を入力するときは“0”→“8”→“9”と最初に0を入力します。

- しばらく何も操作しないと、元の画面に戻ります。

音を変えて弾いてみよう

いろいろな楽器の音色で弾いてみよう

本機はバイオリン、フルート、オーケストラの楽器など、さまざまな楽器の音色で演奏ができます。同じ曲でも楽器の種類を替えて弾けば、さらに多彩な演奏が楽しめます。

メモ

- 液晶画面のU2(レイヤー)、L(スプリット)のインジケータが消灯していることを確認します。点灯している場合は、それぞれを**24**レイヤー、**23**スプリットを押して、インジケータを消灯させます。

演奏する楽器を決める

1. **11** トーンを押します。



2. **28** 数字ボタン、**29** [-] または [+] を押して、好きな音色を選びます。

- 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。

例: 001なら、“0”→“0”→“1”と入力します。

メモ

- 音色の一覧は別紙「Appendix」をご覧ください。
- 本機には特殊なエフェクトがかかった音色(DSPトーン)があります。DSPトーンを選んだ場合、液晶表示のDSP TONEインジケータが点灯します。
- ドラムセットの音色が選ばれていると、鍵盤ごとにさまざまな打楽器が鳴ります。

3. 鍵盤を弾いてみましょう。

選んだ楽器の音色が出ます。



ピアノやオルガンの音色で弾く

10 ピアノ/オルガンを押すと、本機をピアノやオルガンの音色で弾くのに適した状態にすることができます。**10** ピアノ/オルガンを押すごとに、ピアノ(音色番号001)とオルガン(音色番号079)が交互に切り替わります。

音色以外の設定も切り替わります。

例: リズム番号: ピアノの場合“161”(ピアノ8Bt)
オルガンの場合“102”(ゴスペル 2)

2つ以上の音色を同時に鳴らす(レイヤー、スプリット)

2つの音色を重ねて鳴らしたり(レイヤー)、鍵盤を左右に分けてそれぞれ異なる音色で演奏したり(スプリット)することができます。レイヤーとスプリットを組み合わせ、3つの音色を同時に使うこともできます。

単一で鳴らすときに使うパートをUPPER 1パート、2音色を重ねて鳴らすときの2つ目のパートをUPPER 2パート、鍵盤を左右に分けて鳴らすときの低音部に使うパートをLOWERパートと呼びます。

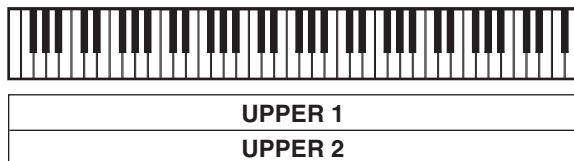
• 鍵盤全体で1つの音色を鳴らす(10ページ)

UPPER 1パートだけを使います(レイヤー オフ、スプリット オフ)。



• 鍵盤全体で2つの音色を重ねて鳴らす(11ページ)

UPPER 1パートとUPPER 2パートを同時に使います(レイヤー オン、スプリット オフ)。

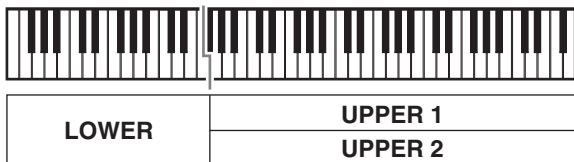


• 鍵盤を左右に分けて、それぞれの鍵域で異なる1音色を鳴らす(11ページ)

UPPER 1パートとLOWERパートを同時に使います(レイヤー オフ、スプリット オン)。



- 鍵盤を左右に分けて、右側の鍵域では2つの音色を重ねて鳴らし、左側の鍵域では1音色を鳴らす(11ページ)
UPPER 1、UPPER 2、LOWERの3パートを同時に使います(レイヤー オン、スプリット オン)。



メモ

- 音色を変更する対象のパートは、レイヤーをオンにするとUPPER2パートになり、スプリットをオンにするとLOWERになります。
- 音色を変更する対象パートを変えるには、一度**11**トーンを押して離してから、さらに**11**トーンを長押しして、液晶画面のパートインジケータの横にある[▶]を移動させます。希望の対象パートに[▶]が移動するまで、**11**トーンを長押しする操作を繰り返します。



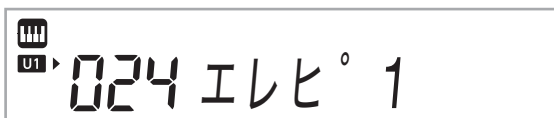
- DSPトーンを複数のパートに設定した場合、UPPER2やLOWERパートに設定した音色のエフェクトが取れて音質が変わります。

2つの音色を重ねてみよう(レイヤー)

1. UPPER1パートの音色を選びます。

11トーンを押してから、**23**数字ボタン、**29**[-]または[+]で音色を選びます。

例: 音色024 “エレクトリックピアノ 1”を選ぶ。



2. **24**レイヤーを押します。



点灯します

3. **28**数字ボタン、**29**[-]または[+]で、UPPER2パートの音色を選びます。

例: 音色187 “ストリングス”を選ぶ。



4. 鍵盤を弾いてみましょう。

選んだ2つの音色が重なって音が出ます。

- もう一度**24**レイヤーを押すと、レイヤーがオフになります。

鍵盤の高音域と低音域で音色を変えてみよう(スプリット)

1. 右側の鍵盤の音色を選びます(10ページ)。

11トーンを押してから、**23**数字ボタン、**29**[-]または[+]で音色を選びます。

例: 音色255 “フルート”を選ぶ。



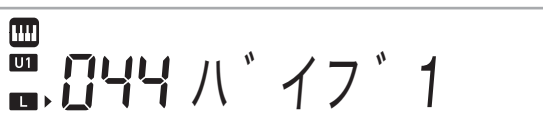
2. **23**スプリットを押します。



点灯します

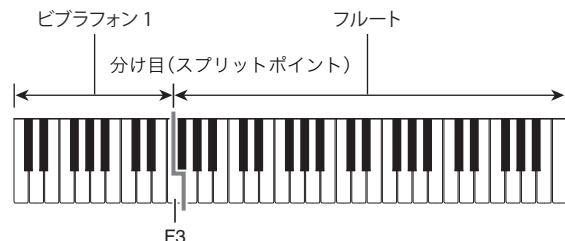
3. **23**数字ボタン、**29**[-]または[+]で、左側の鍵盤の音色を選びます。

例: 音色044 “ビブラフォン 1”を選ぶ。



4. 鍵盤を弾いてみましょう。

左右の鍵盤で選んだそれぞれの音が出ます。



- もう一度**23**スプリットを押すと、スプリットがオフになります。

メモ

- レイヤーをオンにしているときにスプリットをオンに設定すると、右側の鍵盤だけがレイヤーの状態では演奏できるようになります。

音色の分け目を変える(スプリットポイント)

1. **28**スプリットを手順2.の操作が終わるまで押し続けます。

現在スプリットポイントに設定されている鍵盤名が液晶画面に表示されます。

2. 音色の分け目の鍵盤を押します。

押した鍵盤が右側鍵盤の一番低い音の出る鍵盤になります。

例：中央のド(C4鍵)を指定した場合

鍵盤名が表示されます

60 C4

音の響きを変えるには(リバーブ)

1. **27**機能を押して、**28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“リバーブ”と表示させます(4ページ)。

リバーブ

2. **29**[-]または[+]を押して、リバーブのタイプを選びます。リバーブのタイプは下記の表のとおりです。

設定値	設定の種類
1	オフ
2～6	ルーム1～5
7～8	ラージルーム1～2
9～13	ホール1～5
14～15	スタジアム1～2
16～17	プレート1～2
18～19	ディレイ1～2
20	チャーチ
21	カテドラル

音に厚みをつけてみよう(コーラス)

コーラスとは音に厚みや広がりを加える機能のことです。

1. **27**機能を押して、**28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“コーラス”と表示させます(4ページ)。

コーラス

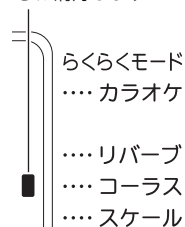
2. **29**[-]または[+]を押して、コーラスのタイプを選びます。

コーラスのタイプは1～11を選びます。

設定値	設定の種類
1	トーン
2～7	コーラス1～6
8～11	フランジャー1～4

- ・設定番号1の“トーン”を選んだ場合、各音色に設定されたコーラスが選ばれます。

“トーン”のときは消灯します



- ・コーラス効果は音色によって差があります。

音を補正してみよう(イコライザー)

本機の音質を調整できます。33ページ「機能ボタン(**27**)で機能設定する」の機能番号16をご参照ください。

設定値	表示	内容
1	スタンダード	通常の設定
2	ベース +	低音を強調します。
3	トレブル +	高音を強調します。
4	ラウドネス	全体の音を強くします。
5	メロウ	柔らかい印象の音にします。
6	ブライト	明るい印象の音にします。
7	ロック	ロックに最適な音にします。
8	ダンス	ダンスに最適な音にします。
9	ジャズ	ジャズに最適な音にします。
10	クラシック	クラシックに最適な音にします。

ペダルを使ってみよう

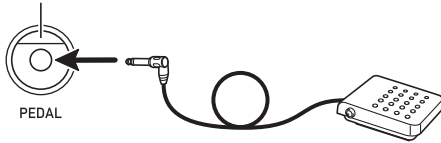
ペダルで演奏にさまざまな変化がつけられます。

- ペダルは本製品に付属されておりません。お買い求めの販売店で別途ご購入ください。

ペダルの接続

ペダル(別売品)を接続してください。

45 PEDAL 端子



ペダルの効果を選ぶ

- 27機能を押し、28(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“ソノタセッテイ”と表示させます。

ソノタセッテイ

- 28(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。

ヘタル

- 28数字ボタン、29[-]または[+]を押して、ペダル効果の種類を選びます(4ページ)。

- ペダル効果の種類は下記の表のとおりです。

設定値	設定の種類	内容
1	サステイン	ペダルを踏んでいる間は、鍵盤を離しても音の余韻が残ります。オルガンなど、鍵盤を押している間音が持続する音色では、ペダルを踏んでいる間、音が鳴り続けます。
2	ソステヌート	鍵盤を押してからその鍵盤を離す前にペダルを踏むと、その音にだけサステインと同じ効果がかかります。
3	ソフト	ペダルを踏んでいる間に弾いた音を若干小さくします。
4	リズム/ソング	自動伴奏やソングの開始・停止を行います。

音の高さを変えて弾いてみよう (トランスポーズ、チューニング、 オクターブシフト)

半音単位で変える(トランスポーズ)

音の高さを半音単位で全体的に上げたり下げたりすることができます。歌う人の声の高さに合わせて、伴奏のキーを上げ下げしたいときなどに便利です。

- トランスポーズの設定範囲は上下1オクターブ(-12から+12半音まで)です。

- 27機能を押します。

トランスポーズ

- 29[-]または[+]を押して、音の高さを変更します。

音の高さを微調整する(チューニング)

チューニング機能とは、音の高さを全体的に少しだけずらす機能です。

- チューニング機能では、A4の音の周波数を設定します。周波数の設定範囲は415.5~465.9Hz(初期値440.0Hz)です。
- 0.1Hz単位で変更することができます。

- 27機能を押し、28(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“チューニング”と表示させます。

チューニング

- 28数字ボタン、29[-]または[+]を押して、チューニングを調節します(4ページ)。

- 数字ボタンでは、整数部の値だけを入力できます。小数点第一位を変更する場合は、[-]または[+]ボタンを押します。

440.0Hz

オクターブ単位で変える(オクターブシフト)

それぞれのトーンパート(10ページ)について、鍵盤の音の高さをオクターブ単位で上げたり下げたりできる機能です。

- 設定範囲は上下3オクターブです。

1. 液晶画面に“U1オクターブ”と表示されるまで **24** レイヤー ( オクターブ) を押し続けます。

 U1オクターブ

2. **23** (数字ボタン) の **[2]** () または **[3]** () を使って、音の高さを変更したいトーンパートを選びます。

3. **29** **[-]** または **[+]** を押して、オクターブ単位で高さを調整します。

 U2オクターブ



- 選択した音色によっては、オクターブシフトが自動的に変更される場合があります。詳細は、別紙「Appendix」の音色リストのオクターブシフト欄をご覧ください。

ソング(内蔵曲)を鳴らそう

ソング(SONG)とはふつう「歌」のことを意味しますが、本機では曲データのことを指します。ソングを鳴らして聴いてみましょう。また、曲を聴くだけでなく曲に合わせて練習することもできます。



- 本機にはソングを自動演奏させて鑑賞する機能だけでなく、自分で弾くための練習をサポートするレッスンシステム(18ページ)もあります。
- パソコンでソングを増やす(45ページ)こともできます。

デモを聴いてみよう

1. **10** トーンと **12** リズムを同時に押します。

001～150番のソングバンク曲が連続再生されます。

- デモ演奏中は、**29** **[-]** または **[+]** で曲を変更できません。
- 曲目は51ページをご参照ください。

点滅します

ソング番号

曲名



053 キラキラホッシ

2. デモを終了するには **8** 演奏/停止を押します。

8 演奏/停止を押すまでデモの全曲目を繰り返します。



- オートパワーオフ機能(7ページ)を有効にしている場合、何も操作しないと、電源が30分で切れます。オートパワーオフ機能をキャンセルするには、7ページの「オートパワーオフ機能をキャンセルして使う」をご参照ください。

ソングを1曲ずつ聴いてみよう

本機に内蔵されているソングの中から好きな曲を選んで聴くことや、外部機器から自分で増やした曲も聴くことができます。また、ソングに合わせて弾くこともできます。



- ソングバンクの401～406番は、自分で演奏した曲を録音して保管しておくところ(ユーザー録音用)です。録音機能については、29ページ「演奏を録音してみよう(レコーダー)」をご参照ください。

スタート/ストップ

1. **[F3]**ソングバンクを押します。
2. **[28]**数字ボタン、**[29]**[-]または[+]を押して、好きなソング番号を選びます。
 - ソングの一覧は51ページをご参照ください。
 - 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。

例: 001なら、“0”→“0”→“1”と入力します。
036なら、“0”→“3”→“6”と入力します。

 - 曲によっては選んだ際、読み込み中であることを示す“Lod”が液晶表示部のテンポ部に表示されることがあります。
 - 曲を選ぶとメトロノームの拍子はその曲に合った設定になります。メトロノームの設定で選べない拍子の場合でも、その曲に合わせてメトロノームが動きます。

■内蔵曲の「脳にキク」について

ソングの151～200番は、指のトレーニングのための曲集です。脳の活性化の効果も期待できます。



- 脳の活性化には個人差があります。
- 本機は医療機器ではありません。

3. **[F8]**演奏/停止を押します。
ソング再生がスタートします。
4. もう一度**[F8]**演奏/停止を押すと、ソング再生を途中で止めることができます。
ソングは**[F8]**演奏/停止を押すまでリピート再生します。リピートを解除するには**[F3]**リピートを押します。



オフのときは消灯します

一時停止、早送り、早戻し

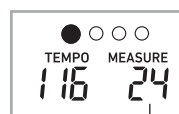
音楽プレーヤーのように、ソングの一時停止や早送り・早戻しができます。

■一時停止

1. **[F7]**一時停止を押します。
ソング再生を一時停止します。
2. もう一度**[F7]**一時停止を押すと、停止したところからソング再生を再開します。

■早送り

1. **[F6]**早送りを押します。
ソングを早送りします。**[F6]**早送りを1回押すと1小節先に進みます。押し続けると連続して小節を進めます。



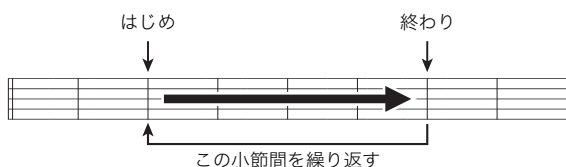
小節数

■早戻し

1. **[F5]**早戻しを押します。
ソングを早戻しします。**[F5]**早戻しを1回押すと1小節戻ります。
押し続けると連続して小節を戻します。

曲の小節間を繰り返す(リピート)

上手に演奏できないフレーズを何度も繰り返し練習してみましょう。繰り返したい箇所の、はじめの小節と終わりの小節を指定します。



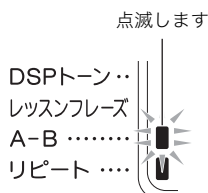
1. **[3]** リピートを押して、曲のリピートをオンにします。

- フレーズをリピートさせない場合は、リピート機能をオフにしてください。



2. 曲の再生中に、**[4]** A-Bを押してリピートするはじめの小節を指定します。

[4] A-Bを押したときの小節冒頭が指定されます。



3. リピートしたいところまで曲が進んだら、もう一度**[4]** A-Bを押して終わりの小節を指定します。

[4] A-Bを押したときの小節末尾が指定され、指定した小節間をリピート再生します。



- リピート再生中に**[7]** 一時停止、**[6]** 早送り、**[5]** 早戻しを押すと、リピート部分の一時停止、早送り、早戻しができます。

4. もう一度**[4]** A-Bを押すと、通常の演奏に戻ります。

ソング番号を変えるとリピート内容は消去されます。



速さ(テンポ)を変える

難しいフレーズはソング再生の速さ(テンポ)を変えて練習してみましょう。

9ページ「テンポ(速さ)を変えるには」をご参照ください。

音量(ソングボリューム)を変える

自分で弾く音量とソング再生の音量のバランスを変えてみましょう。

33ページ「機能ボタン(27)で機能設定する」の機能番号9をご参照ください。

ソングの音と同じ音色で弾いてみる (トーン・シンク機能)

鍵盤の音色をソングと同じ音色にして、一緒に弾いてみましょう。

1. 液晶画面の音色名がそのソングの音色名に変わるまで、**[13]** ソングバンクを押し続けます。

- ソングの音色と同じ音色が選ばれているときは、液晶画面の音色名は変わりません。

2. ソング再生に合わせて弾いてみましょう。



- 右手と左手で違う音色を使っているソングは、右手パートと同じ音色で弾けるようになります。

ソングを増やす(ユーザーソング)

USBメモリーやアプリリンク機能で本体に転送したソングデータを本機のソングバンク(番号201~400)にユーザーソングとして読み込んで、再生やレッスン(18ページ)をすることができます。「本機のデータをパソコンに保存する/本機のソングを増やす」(45ページ)をご参照ください。



- 本機に保存したソングデータを消去する方法は31ページをご参照ください。

ユーザーソング内の曲を選ぶ

1. **26**ユーザー/USBソングを“ユーザソング”と表示されるまで数回押します。
 - 画面に“ユーザソング”と表示されたあと、ユーザーソングの先頭の曲名が表示されます。
2. **29**[-]または[+]を押して、好きなソング番号を選びます。

USBメモリーのソングを再生する

USBメモリーの“MUSICDAT”フォルダに保存されているMIDIファイル※を、内蔵ソングと同様に再生することができます。USBメモリーにMIDIファイルを保存する操作については、41ページ「一般の曲データをパソコンでUSBメモリーにコピーする」をご参照ください。

※標準MIDIファイル(SMFフォーマット0/1)、およびカシオMIDIファイル(CMFまたはCM2形式)

■USBメモリーのソングを再生するには

1. USBメモリーを本機のUSBメモリー端子に装着します。
 - USBメモリーを本機に装着して最初にUSBメモリーを操作するとき、あるいは電源投入後に最初にUSBメモリーを操作するとき、本機のシステムがUSBメモリーとデータをやり取りする準備(マウント)を行うため、一時的に本機の操作ができなくなる場合があります。マウント中は、USBインジケーターが点滅します。本機がマウントを完了し、操作が可能になるまで数十秒間かかることがあります。マウント中は、本機を操作しないでください。マウントは、本機にUSBメモリーを装着するたびに実行されます。

2. USBインジケーターの点滅が消えたら、**26**ユーザー/USBソングを“USBソング”と表示されるまで数回押します。
 - 画面に“USBソング”と表示されたあと、USBメモリーの先頭の曲名が表示されます。
 - ソング番号は、USBメモリーに保存されているMIDIファイルのファイル名昇順に、自動的に振られます。ファイル名昇順で先頭のMIDIファイルが、ソング番号407番になります。
3. **29**[-]または[+]を押して、好きなソング番号を選びます。

ソングに合わせてマイクで歌おう(カラオケ機能)

ソングバンクの内蔵曲、ユーザーソング、USBメモリーのソングは、メロディーパートをカラオケのように小さな音量で鳴らして再生しながら、マイクで歌えます。

<準備>

- マイクの接続方法は、6ページ「マイクの取り付けかた」を参照してください。
- 歌う前に、**44**MIC VOLUMEつまみでマイクの音量を調節しておきます。

1. ソングバンクの中から歌いたい曲を選んで(15ページ)、**29** カラオケを押します。カラオケ機能がオンになります。
 - もう一度**29** カラオケを押すと、カラオケ機能がオフに戻ります。



オンのとき点灯します

2. **8**演奏/停止を押して、ソングを再生します。
3. マイクを使って歌ってみましょう。
 - メロディーラインは歌いやすい音量や音質で再生されます。



- ソング再生の音を歌いやすい高さ(キー)に変えたいときは、トランスポーズ機能(13ページ)で変更してください。
- マイクにエコーなどの効果をかけることができます。18ページ「マイクのエフェクト設定」を参照してください。
- 一部のソングバンク曲では、カラオケの効果が効かないものもあります。
- 本機の録音機能で録音した曲は、カラオケ機能が使えません。
- 一般的なMIDIファイル(SMF)など、パート・チャンネルの情報が無い曲は、機能設定の「メロディーパートチャンネル設定」で指定したチャンネルがメロディーになります。33ページ「機能ボタン(**27**)で機能設定する」の機能番号34をご参照ください。

マイクのエフェクト設定

マイクにかかるエフェクトのタイプを設定できます。

1. **27**機能を押して、**28**(数字ボタン)の[2]()または[3]()を使って液晶画面に“カラオケセットイ”と表示させます(4ページ)。
2. **29**[-]または[+]を押して、エフェクトのタイプを選びます。エフェクトのタイプは下記の表のとおりです。

設定値	表示	内容
1	オフ	何も効果がかかりません。
2	エコー	歌声をやまびこのように反復させる効果がかかります。
3	リバーブ	歌声に自然な響きを加えます。
4	コーラス	歌声に厚みを持たせる効果がかかります。

ソング(内蔵曲)で曲をマスターしよう

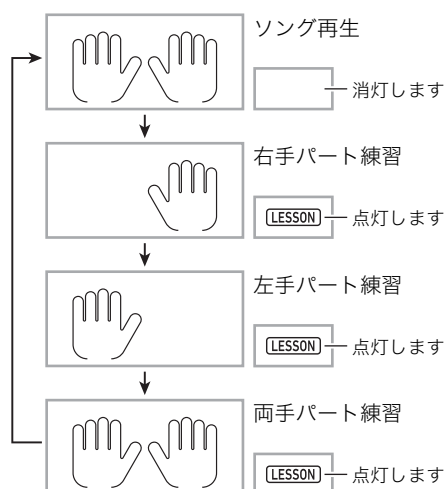
本機でソングを練習するには、下記の方法があります。

- らくらくモード(19ページ)
- ステップアップレッスン(19ページ)
- ガイド無し演奏(20ページ)

練習するソング、パートを選ぶ

最初に、練習するソング、パートを決めましょう。レッスンするパートを右手、左手、両手から選べます。最初から両手で弾くことが難しい場合は、パートを片手ずつ選んでレッスンしてみましょう。

1. 練習するソングを選びます(15ページ)。
2. **9**パートセレクトを押して、練習するパートを選びます。
9パートセレクトを押すたびに、下記のようにパート選択が切り替わります。
 - パート選択の状態によって、液晶表示のパートアイコンとLESSONインジケータの点灯状態が変わります。



メモ

- ソング再生中は**9**パートセレクトを押してもレッスンに変わりません。
- レッスン中に**9**パートセレクトを押した場合、ソング再生の状態は選ばれません。
- 選んだパートの音だけが液晶画面の鍵盤に表示されます。
- 両手パート練習では指番号の音声ガイドは鳴りません。

3. 液晶画面の音色名がそのソングの音色名に変わるまで、**13**ソングバンクを押し続けます。
鍵盤の音がソングと同じ音色になります(16ページ)。



- 任意で指定した区間を繰り返しレッスンできます。16ページ「曲の小節間を繰り返す(リピート)」を参照してください。
- レッスンを始めると、レイヤーやスプリットなど鍵盤の設定を変える機能は必要に応じて、レッスン用の設定に自動で変更されます。
- ユーザー録音曲はレッスンできません。

らくらくモード

鍵盤の光るタイミングに合わせて、どれかひとつの鍵盤を次々と押せば、ソングのメロディーが鳴ります。初心者でも簡単に演奏を楽しんだり、鍵盤を弾くタイミングを覚えることができます。

1. 練習するソングを選びます(15ページ)。
2. **9**パートセレクトを押して、練習するパートを選びます。
3. **17**らくらくモードを押します。
 - カウントの後、(前奏のある曲は前奏に続き)1音目の待機状態になります。
4. 鍵盤のいずれか1つを、鍵盤の光に合わせて続けて押して、演奏してみましょう。



- カウント中および前奏中は、初めに押さえる鍵盤が点滅します(演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します)。弾くタイミングになると、光のガイドは点滅から点灯に変わります。
 - 伴奏は、次の鍵盤を押さえるまで待ってくれます。
5. らくらくモードを止めるには、**17**らくらくモード(または**8**演奏/停止)を押します。

レッスン1~3をはじめよう

1曲を弾けるようになるまで、3段階に分けて練習することができます。

- レッスン1:お手本の演奏を聴く
- レッスン2:表示のガイドを見ながら弾く
- レッスン3:これまでの練習を思い出して弾く



レッスン1、お手本の演奏を聴く

まずは、お手本の演奏を何度も聴いて曲を覚えましょう。

1. **13**ステップアップレッスン1を押します。
お手本の演奏がはじまります。
2. お手本の演奏を止めたい場合は**13**ステップアップレッスン1(または**8**演奏/停止)を押します。

レッスン2、表示のガイドを見ながら弾く

ソングを弾いてみましょう。液晶画面にこれから弾く鍵盤が表示されます。また、音声で指使いの番号をガイドします。ガイドに合わせて鍵盤を弾く練習をしましょう。間違えて押しても大丈夫です。正しい鍵盤を弾くまで曲の再生が一時停止してくれます。あせらずゆっくり弾いてみましょう。

1. 19ステップアップレッスン2を押します。

レッスン2がはじまります。

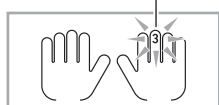
2. 液晶画面表示と音声でガイドがはじまりますので、ガイドに合わせて鍵盤を弾く練習をしましょう。

液晶画面表示にはこれから弾く鍵盤がガイドされます。また、音声で指使いの番号をガイドします。



点滅します

点灯します



<レッスン2のガイドについて>

ガイドを参考にどの鍵盤をどの指で弾くのかを覚えて、タイミングを合わせて弾きます。



弾くタイミングがすぎても正しい鍵盤を弾かないと、曲が一時停止します

- 鍵盤表示が点滅から点灯に変わります。
- 正しい鍵盤を音でガイドします。
- 音声で指使いの番号をガイドします。



正しい鍵盤を弾くと、曲演奏が再開され、次の鍵盤が点滅ガイドされます。

3. レッスン2を止めたい場合は19ステップアップレッスン2(または8演奏/停止)を押します。

● 最後まで弾くとレッスン2の採点結果が表示されます。

スバラシイ!	合格です。次のレッスンへ進みましょう。
モウイチ!	もう一度トライしましょう。



- 外部機器から読み込んで増やしたソング(17ページ)では、指使いの番号はガイドされない場合があります。
- レイヤーやスプリットなど鍵盤の設定変更に関わる操作をレッスン中にすると、採点されません。

レッスン3、これまでの練習を思い出して弾く

正しい鍵盤を弾くまで曲が停止したままになる点はレッスン2と同じですが、次に弾く鍵盤の事前のガイドがありません。レッスン2までの練習を思い出しながら弾いてみましょう。

1. 20ステップアップレッスン3を押します。

レッスン3がはじまります。

2. 曲に合わせて弾きます。

<レッスン3のガイドについて>

レッスン2で覚えた鍵盤を弾きます。



弾くタイミングがすぎても正しい鍵盤を弾かないと、曲が一時停止します。



しばらく正しい鍵盤を弾かないと、レッスン2と同様のガイドが出ます。



正しい鍵盤を弾くと、曲演奏が再開されます。

3. レッスン3を止めたい場合は20ステップアップレッスン3(または8演奏/停止)を押します。

- 最後まで弾くとレッスン2と同様に、レッスン3の採点結果が表示されます。

ガイド無しで演奏してみよう

レッスン1、2、3で弾けるようになったら、最後に自動演奏に合わせて1曲弾いてみましょう。

1. 9パートセレクトを押してレッスンするパートを選んで、8演奏/停止を押します。

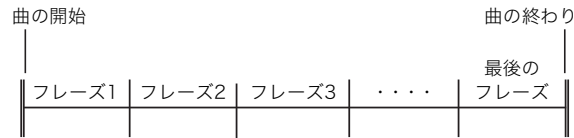
ガイド無しで止まらずに弾いてみましょう。

曲を分けて練習してみよう (レッスンフレーズ)

ステップアップレッスンとガイド無し演奏では、曲全体をいくつかの短い楽節(フレーズ)に分けて練習することができます。

フレーズについて

本機に内蔵されている曲は、あらかじめ練習用のフレーズに分けられています。



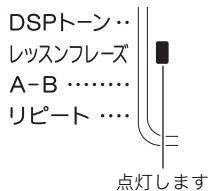
メモ

- 外部機器から読み込んで増やしたソング(17ページ)は、練習用のフレーズに分けられていない場合があります。これらのソングをフレーズに分けて練習したいときは、22ページの「フレーズの長さを変える」をご参照ください。

曲を分けて練習する

1. **[24]** レッスンフレーズを押します。

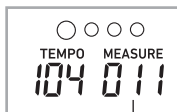
- レッスンフレーズ機能がオンになります。



2. **[5]** ◀早戻し、**[6]** ▶早送りを押してレッスンしたいフレーズを選びます。

- [5]** ◀早戻しで1つ前のフレーズ、**[6]** ▶早送りで次のフレーズを選べます。

フレーズ番号



選ばれたフレーズの最初の小節

3. ステップアップレッスン(19ページ)またはガイド無し演奏(20ページ)を始めます。

- 選んだフレーズのレッスンが始まります。

4. レッスンフレーズ機能をオフするには、もう一度 **[24]** レッスンフレーズを押します。

メモ

- リピート機能をオンにすると、フレーズを繰り返し練習できます。16ページ「曲の小節間を繰り返す(リピート)」を参照してください。

レッスン中のメッセージ表示について

メッセージ	内容
<フレーズ>	フレーズを選んだときや、レッスンを開始したときなどに表示されます。 • ただし一部のフレーズでは<フレーズ>の代わりに下記の<マチマス>が表示される場合があります。
<マチマス>	ソングの前奏や間奏などの、練習する音符が含まれていないフレーズのレッスンを開始したときに表示されます。このフレーズでは再生が終わると自動的に次のフレーズに進みますので、鍵盤を弾かずに待ってください。

レッスン中のさまざまな設定

指番号の音声ガイドを消す

レッスン2、レッスン3での音声による指使い番号ガイドをオフにできます。

1. **[27]** 機能を押して、**[28]** (数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“レッスンセッティ”と表示させます。

レッスンセッティ

2. **[28]** (数字ボタン)の[6](エンター)を押します。

3. **[28]** (数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“ウンシオンセイ”と表示させます。

ウンシオンセイ

4. **[29]** [-]を押して、オフに設定します。

弾くべき音のガイドを消す

レッスン2、レッスン3での弾くべき音が鳴るガイドをオフにできます。

1. **27**機能を押して、**28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“レッスンセッテイ”と表示させます。
2. **28**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
3. **28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“サウンドナビ”と表示させます。

サウンドナビ

4. **29**[−]を押して、オフに設定します。

採点結果の表示を出さないようにする

レッスン2、レッスン3、ガイド無し演奏で表示される採点結果の表示機能をオフにできます。

1. **27**機能を押して、**28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“レッスンセッテイ”と表示させます。
2. **28**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
3. **28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“サイテン”と表示させます。

サイテン

4. **29**[−]を押して、オフに設定します。

フレーズの長さを変える

練習用のフレーズに分けられていない曲をフレーズに分ける際の長さを設定できます。

1. **27**機能を押して、**28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“レッスンセッテイ”と表示させます。
2. **28**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
3. **28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“フレーズチョウ”と表示させます。

フレーズチョウ

4. **28**数字ボタン、**29**[−]または[+]を押して、フレーズの長さを選びます。

設定値	内容
1	1小節で1フレーズ
2	2小節で1フレーズ
3	3小節で1フレーズ
4	4小節で1フレーズ
5	5小節で1フレーズ
6	6小節で1フレーズ
7	7小節で1フレーズ
8	8小節で1フレーズ

伴奏を簡単にするには

ステップレッスンの伴奏音を簡単にして、レッスン音を聴き取りやすくします。
33ページ「機能ボタン(**27**)で機能設定する」の機能番号27をご参照ください。

パートチャンネルを設定する

パートチャンネルとは以下の機能で使われるパートに関する情報です。また、パートチャンネル情報がない曲の場合はここでの設定が使われます。

- トーン・シンク機能(16ページ「ソングの音と同じ音色で弾いてみる(トーン・シンク機能)」)
- レッスン機能(19ページ)

33ページ「機能ボタン(**27**)で機能設定する」の機能番号47、48をご参照ください。

自動伴奏をバックに演奏しよう

自動伴奏機能とは、お好みの伴奏リズムを選び、左手でコード(和音)を押すだけで、選んだリズムにぴったりの伴奏が自動に鳴る機能です。1人でもアンサンブル演奏をお楽しみいただけます。



- 自動伴奏で鳴るパート(楽器)には、下記の3種類があります。
 - (1) リズム(打楽器)
 - (2) ベース(低音楽器)
 - (3) ハーモニー(さまざまな楽器)

(1)だけを鳴らしたり、(1)～(3)の全楽器を同時に鳴らすこともできます。

リズムパートだけを鳴らそう

リズム(打楽器)は自動伴奏の土台となる重要なパートです。本機には8ビートやワルツなどさまざまな種類のリズムが内蔵されていますので、まずは基本となるリズムパートだけを聴いて、それに合わせて弾いてみましょう。

リズムパターンの選択とスタート/ストップ

1. **12**リズムを押します。



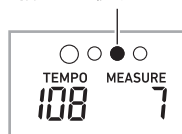
2. **28**数字ボタン、**29**[-]または[+]で好きなリズム番号を選びます。

- リズムの種類は別紙「Appendix」をご覧ください。
- 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。
例: 001なら、「0」→「0」→「1」と入力します。
- メトロノームの拍子は、選んだリズムに合う設定になります。

3. **8**スタート/ストップを押します。

リズムがスタートします。

1拍ごとに移動します



4. リズムに合わせて弾きましょう。

5. もう一度**8**スタート/ストップを押すとリズムがストップします。

すべてのパートを鳴らしてみよう

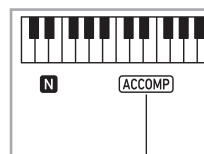
コードを付けて伴奏する

左手でコードを押さえると、選んだリズムにベースやハーモニーを加えた伴奏が自動的に演奏されます。1人で演奏してもバンド演奏のように楽しく演奏できます。

1. リズムをスタートさせます。

2. **9**[ACCOMP]伴奏を押します。

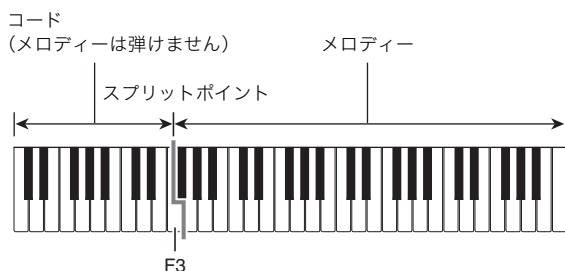
左側の鍵盤でコードを入力できる状態になります。



点灯します

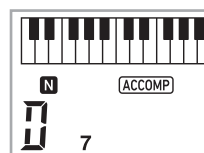
3. コード入力鍵盤でコードを押さえます。

ベースやハーモニーなど、リズムパート以外の楽器も鳴りはじめます。



例) コード入力鍵盤の「レ・ファ[#]・ラ・ド」を押さえる。

「レ・ファ[#]・ラ・ド」の和音(コード:D7)で伴奏が鳴ります。



- コード入力鍵盤の範囲はスプリットの範囲と連動します。
- スプリットポイントを変更して、コード入力鍵盤の範囲を変えることができます(12ページ)。

4. 左手でいろいろなコードを押さえて、右手でメロディーを弾きましょう。

5. もう一度**9**[ACCOMP]伴奏を押すと、リズムだけの伴奏に戻ります。

コードの入力方法の選択

コードの入力方法は、以下の5種類から選べます。

- カシオコード
- フィンガード1
- フィンガード2
- フィンガードオンベース
- フルレンジコード

1. **22**コードモードを押します。

2. **29**[-]または[+]を押して、コード入力方法を選びます。

■カシオコードについて

簡単な指使いで次の4種類のコードを演奏できます。

！カシオコード

コード入力鍵盤



コードの種類

メジャーコード

コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します(コード入力鍵盤の範囲内であれば、1オクターブ違う同音でもかまいません)。

例: C(Cメジャー)



マイナーコード

メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を1つ押します。

例: Cm(Cマイナー)



セブンスコード

メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を2つ押します。

例: C7(Cセブンス)



マイナーセブンスコード

メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を3つ押します。

例: Cm7(Cマイナーセブンス)



- 2つ目以降の鍵盤は、1つめより右側なら白鍵・黒鍵を問わずどれでも使用できます。

■フィンガードについて

これらは、コード構成音のままに鍵盤を押さえて入力する方法です(一部のコードでは構成音を省略して、1~2鍵でも入力できます)。

入力できるコードの種類と鍵盤の押さえかたについては、57ページ「指定できるコード種一覧」をご覧ください。

コード入力鍵盤



●フィンガード1

コードの構成音の鍵盤を押さえます。

2フィンガード1

●フィンガード2

フィンガード1とは違い、6thの入力はできません。m7、m7^{b5}の入力ができます。

3フィンガード2

●フィンガードオンベース

フィンガード1とは違い、一番低い鍵盤の音をベース音として分数コードが入力できます。

4 Fgオンベース

■フルレンジコードについて

すべての鍵盤でコードの入力とメロディー演奏ができます。

5フルレンジ

入力できるコードの種類については、57ページ「指定できるコード種一覧」をご覧ください。

コード入力・メロディー鍵盤



自動伴奏を使いこなそう

自動伴奏に変化をつけて演奏する

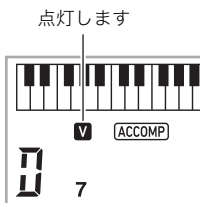
自動伴奏にメリハリをつけて演奏できます。気の利いたイントロから入る、サビ前をぐっと盛り上げる、おしゃれなエンディングをつけるなど、自動伴奏をさまざまに彩る演出機能を使いこなしましょう。

■バリエーション(伴奏パターンの変形)

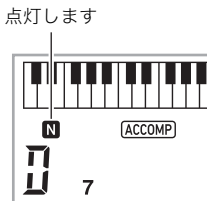
ノーマルパターン(基本)の演奏を変化させたバリエーションパターンです。基本パターンとは一味違った演出ができます。

1. **5**バリエーション フィルインを押します。

バリエーションパターンがスタートします。



2. **4**ノーマル フィルインを押すと、ノーマルパターンの演奏に戻ります。



■イントロ(前奏)

数小節のイントロを入れます。

1. **3**イントロを押します。

イントロがスタートします。イントロ演奏の後、ノーマルパターンの演奏になります。

- イントロ演奏中に**5**バリエーション フィルインを押した場合は、イントロ終了後にバリエーションパターン演奏になります。



■変化フレーズ(フィルイン)

曲の途中にフィルインを入れます。

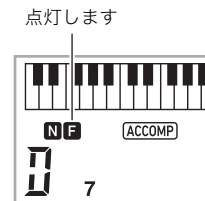
- フィルインとは、曲調の切れ目に入れる短いフレーズのことです。メロディーとメロディーのつなぎ目やアクセントとして使ったとき、とても華やかな演奏になります。
- ノーマル、バリエーションのそれぞれに違ったフィルインパターンがあります。

●ノーマル・フィルイン

1. ノーマルパターン演奏中に、**4**ノーマル フィルインを押します。

ノーマルパターンのフィルインが演奏されます。

- フィルイン終了後にノーマルパターン演奏に戻ります。

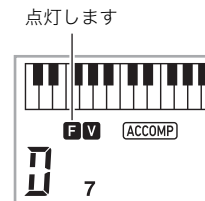


●バリエーション・フィルイン

1. バリエーションパターン演奏中に、**5**バリエーション フィルインを押します。

バリエーションパターンのフィルインが演奏されます。

- フィルイン終了後にバリエーションパターン演奏に戻ります。

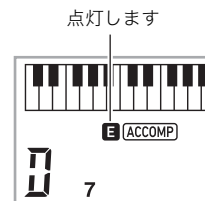


■エンディング(終わり)

数小節のエンディングパターンを入れます。

1. 自動伴奏の演奏中に、**6**エンディング/シンクロス タートを押します。

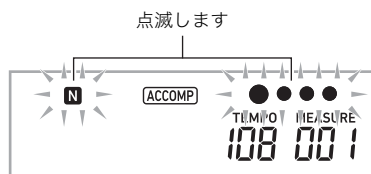
エンディングパターンが演奏され、自動的に伴奏が停止します。



■シンクロスタート(演奏と同時に伴奏をスタートする)

鍵盤を押すタイミングと同時に、伴奏をスタートさせることができます。

1. **6**エンディング/シンクロスタートを押します。
シンクロスタート待機の状態になります。



2. コード入力鍵盤でコードを押さえます。
同時にフルパート伴奏(ノーマル)がスタートします。

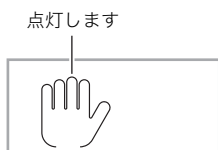
シンクロスタート待機中に以下の操作をしておくと、ノーマル以外のパターンで開始できます。

- イントロからはじめたいとき→**3**イントロを押します。
- バリエーションからはじめたいとき→**5**バリエーション
フィルインを押します。

■シンクロストップ

コード入力鍵盤からすべての指を離すタイミングと同時に、伴奏を停止させることができます。停止後は自動的にシンクロスタート待機状態になります。

1. **7**シンクロストップを押して、液晶画面の左手インジケータの点灯/消灯を切り替えます。



テンポ(速さ)を変える

9ページ「テンポ(速さ)を変えるには」をご参照ください。

自動伴奏の音量を変える

自分で弾く音量と自動伴奏の音量のバランスを変えてみましょう。

33ページ「機能ボタン(**27**)で機能設定する」の機能番号8をご参照ください。

お勧めの音色やテンポにする (ワンタッチプリセット)

ワンタッチプリセットとは、リズムパターンごとにそのリズムによく合った音色やテンポを、ワンタッチで呼び出すことができる機能です。

1. 液晶画面表示が音色の表示になるまで、**12**リズムをしばらく押し続けます。
鍵盤の音色やテンポなどが現在選択されているリズムに対応した設定にセットされます。
2. 鍵盤でコードを押さえて演奏します。
伴奏も同時にスタートします。

ミュージックプリセット

さまざまなジャンルや曲の演奏に適した音色番号やリズム番号、コード進行などをワンタッチで設定します。

- プリセットのリスト(310種類)は、別紙「Appendix」を参照してください。

1. **[12]**リズムを押します。

2. **[9]** [ACCOMP]伴奏を長押しします。

- ACCOMPインジケーターが点滅して、コード進行の再生ができる状態になります。

プリセット番号

プリセット名



3. **[23]**数字ボタン、**[29]**[-]または[+]を押して、プリセット番号を選びます。

音色やリズムなどの適した設定が呼び出されます。

- 自動伴奏のシンクロスタート待機中になります(26ページ)。

4. **[8]**スタート/ストップを押すと、自動伴奏がスタートします。

自動的にコードが進行したりフィルインが入るので、自動伴奏に合わせて曲を弾いてみましょう。

- 自動伴奏を停止するには、**[8]**スタート/ストップ、または**[6]**エンディング/シンクロスタートを押します。

- ミュージックプリセットを終了するには、**[9]** [ACCOMP]伴奏を押します。ただし、音色やリズムは選んだミュージックプリセットの設定のままです。

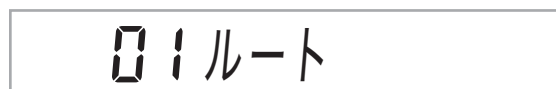
コード進行のキーを変えたい場合 (キーシフト機能)

33ページ「機能ボタン(**[27]**)で機能設定する」の機能番号49をご参照ください。

コード(和音)の音を調べる (コードブック)

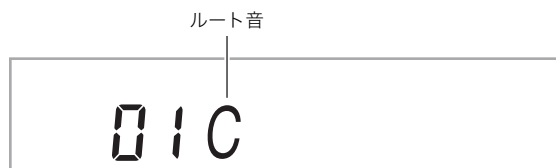
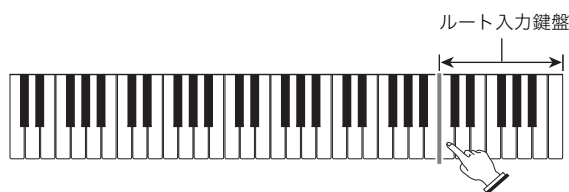
楽譜のコードネームを見て、コードの構成音や鍵盤の押さえ方が分からないときに、本機能を使って調べることができます。ルート・コードタイプ・転回形を設定すると、構成音が表示され発音します。また、調べたコードで自動伴奏を鳴らしたり、自動伴奏で鳴らしているコードをコードブックに反映したりできます。

1. 液晶画面に“ルート”と表示されるまで、**[22]**コードモード(コードブック)を押し続けます。



2. **[29]**[-]または[+]や、下記のルート入力鍵盤で、調べたいコードのルート音(根音)を指定します。

例: Cを選ぶ場合



3. **[23]**(数字ボタン)の[2]()または[3]()を使って、液晶画面に“タイプ”を表示させます。

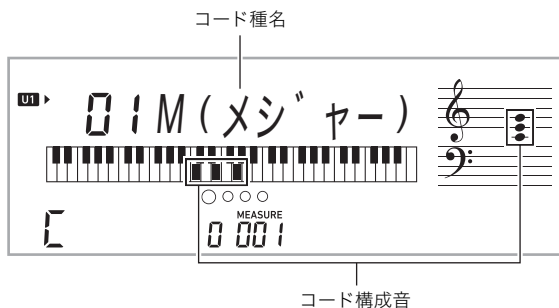


4. 29[-]または[+]を押して、コードの種類を選びます。

選んだコードの音が鳴り、コード種名と構成音が液晶画面に表示されます。

- もう一度、構成音を鳴らしたい場合は28の[6](エンター)を押します。
- 構成音は、Upper1パートで設定されている音色で鳴ります。22コードモードを長押しすると、最適な音になります(音色がピアノ、トランスポーズが0になる)。

例: M(メジャー)を選んだ場合



- コードの種類は、下記のなかから選ぶことができます。

M(メジャー), m(マイナー), dim, aug, ^{♯5}, sus4, sus2, 7th, m7, M7, mM7, dim7, dimM7, 7^{♯5}, m7^{♯5}, M7^{♯5}, aug7, augM7, 7sus4, 6th, m6, add9, madd9, 69, m69

- 転回形を表示させるには、28(数字ボタン)の[2]()または[3]()を使って、液晶画面に“テンカイケイ”を表示させてから、29[-]または[+]を押します。

設定値	内容
0	基本形
1	第一転回形
2	第二転回形
3	第三転回形
4	第四転回形

5. 調べ終わったら、28(数字ボタン)の[5](戻る)を押して、コードブックを終了します。

コードブックで調べたコードを自動伴奏で鳴らしてみる

1. コードブック機能に入る前に、23ページ「自動伴奏をバックに演奏しよう」でリズムを選んで、9[ACCOMP]伴奏を押します。

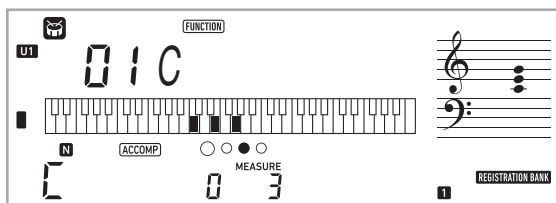
2. コードブック機能でルートとタイプを設定します。

- 液晶画面の“N”インジケータが点滅し、シンクロスタートの待機状態になります。

3. 表示されている構成音をコード入力鍵盤で押さえます。

- 構成音がコード入力鍵盤に収まるように、演奏してみましょう。
- 自動伴奏がスタートし、コードブックで選んだコードが鳴ります。

例: Cの構成音を押し、自動伴奏を鳴らす



- コードブックで表示される結果が異なった場合は、構成音とコードの関係についてさらに調べてみましょう。

メモ

- コードブック中、コードモードはフィンガード1に設定されます。
- コード入力鍵盤の範囲はスプリットの範囲と連動します。
- スプリットポイントを変更して、コード入力鍵盤の範囲を変えることができます。
- コード入力鍵盤でコードを押さえると、転回形は0(基本形)に設定されます。

演奏を録音してみよう (レコーダー)

自分の演奏した曲を録音して再生できます。演奏をそのまま録音したり、レッスン演奏を片手ずつ録音できます。また、自動伴奏を使った演奏も録音でき、重ねて別の鍵盤演奏を録音することもできます。

録音した内容は、ソングバンクの401～406番(ユーザー録音)に保存されます。402～406番には自分の演奏した曲を、401番には曲のレッスン演奏を録音できます。

演奏を録音・再生する

弾いたそのままに演奏を録音してみましょう。録音した内容は、ソングバンクの402～406番に保存されます。

1. **[F4]**リズムを押します。

2. **[F4]**録音/停止を押します。

録音の待機状態になります。



- 録音待機状態から抜けるには、**[F4]**録音/停止を数回押して、液晶画面上のRECORDインジケータを消灯させてください。

3. 音色やリズムの番号などを設定します。

4. 演奏をはじめます。

鍵盤を弾きはじめると、同時に録音がはじまります。



メモ

- 自動伴奏を開始すると、自分の演奏と一緒に自動伴奏も録音することができます。
- 録音できる残り音符数が100以下になると、液晶画面上のRECORDインジケータが高速で点滅します。
- 録音できる曲数は、最大5曲です。
- 1曲に録音できる音符数は、最大約40,000音符です。

5. 録音を終了するには、**[F4]**録音/停止を押します。



6. **[F8]**演奏/停止を押すと録音した演奏の再生をします。

[F8]演奏/停止を押すたびに再生と停止を繰り返します。

重要

- 録音中に本機の電源がオフになると、録音した内容は消去されます。
- 新しく録音すると、以前に録音した内容は消去されます。
- システムの制約上、使用する音色や自動伴奏、リバーブ、コーラスの設定によっては、録音時と再生時で音の鳴り方が変わる場合があります。

演奏を重ねて録音する

自動伴奏を含む鍵盤演奏を録音するトラック1の他に、別の鍵盤演奏を重ねて録音できるトラックが5つあります。

■録音トラックについて

各パートを録音するための記録部分をトラックといいます。トラックには1から6があります。

- トラック番号を設定しないで録音すると、トラック1に録音されます。

鍵盤演奏の他に以下が記録できます。

●トラック1に記録できる内容

音色番号、リズム番号、リズムコントローラー、自動伴奏の音量、テンポ、拍子、リバーブ設定、コーラス設定、コード演奏、レイヤー演奏、スプリット演奏、スケール設定、オクターブシフト設定、ペダル操作

●トラック2～6に記録できる内容

音色番号、オクターブシフト設定、ペダル操作

トラック1～6に録音する

1. **[F6]**ソングバンクを押します。

2. **[23]**数字ボタン、**[29]**[-]または[+]を押して、演奏を重ねたい曲を選びます。

3. **[F4]**録音/停止を押します。

“ロクオントラック”と表示されます。

ロクオントラック

- 録音待機状態から抜けるには、**[F4]**録音/停止を数回押して、液晶画面上のRECORDインジケータを消灯させてください。

4. **[29]**[-]または[+]を押して、次に録音するトラック番号を選びます。

選んだトラックが録音待機状態になります。

例：トラック2を選んだ場合



- トラック1と違う音色で録音したい場合は、**[F1]**トーンを押してから**[23]**(数字ボタン)、**[29]**[-]または[+]で音色番号を入力したあと、**[F4]**録音/停止を長押しします。

5. **8** 演奏/停止を押します。

先に録音したトラック1の再生が始まります。同時に録音がはじまりますので、再生に合わせて演奏をしましょう。

- トラックの先頭から演奏を録音したい場合は、**14** 録音/停止を押してから演奏を始めます。



6. 演奏が終わったら**14** 録音/停止を押します。

- **8** 演奏/停止を押すと録音した演奏の再生をします。**8** 演奏/停止を押すごとに再生と停止を繰り返します。



7. 手順3～6を繰り返して他のパートを録音します。

8. すべてのパートの録音が終わったら**8** 演奏/停止を押します。

- 録音したトラックの再生が始まります。**8** 演奏/停止を押すごとに再生と停止を繰り返します。

トラックを消音する

録音したトラックを消音して他のトラックの録音や再生をすることができます。

1. **13** ソングバンクを押します。

2. **23** 数字ボタン、**29** [－] または [＋] を押して、録音した曲を選びます。

3. **9** パートセレクトを押します。

“Trk1 ミュート”と表示されます。

4. **23** (数字ボタン) の [2] (←) または [3] (→) を押して消音したいトラックを選びます。

5. **29** [＋] を押すとトラックが消音します。音を出す場合は**29** [－] を押します。

- 消音中はトラックインジケータのトラック番号が消灯します。
- 録音していないトラックのトラック番号は常に消灯します。

6. **23** (数字ボタン) の [5] (戻る) を押します。

録音の待ち状態で、録音先を変える

録音するトラックを変える

- 気軽に新規でソロ・トラック録音したい場合 (例えば、最初にドラムを録音したい、など)
- 録音するトラックの選択を間違えたので変更したい場合

1. 液晶画面に“ロクオントラック”と表示されるまで**14** 録音/停止を押し続けます。

2. **23** 数字ボタン、**29** [－] または [＋] で、録音したいトラックを選びます。

3. **23** (数字ボタン) の [5] (戻る) を押します。

先に録音したトラックを再生させた後に演奏を録音したい場合は、**8** 演奏/停止を押してから、再生させて合わせて演奏します。

録音する曲番号を変える

- 気楽に録音の待ち状態にしたいけど録音する曲番号は自分で選びたい場合
- 録音する曲番号の選択を間違えたので変更したい場合

1. 液晶画面に“ロクオントラック”と表示されるまで**14** 録音/停止を押し続けます。

2. **23** (数字ボタン) の [2] (←) または [3] (→) を押して“ロクオンキョク1”を選びます。

3. **23** 数字ボタン、**29** [－] または [＋] を押して録音したい曲番号を選びます。

4. **23** (数字ボタン) の [5] (戻る) を押します。

先に録音したトラックを再生させた後に演奏を録音したい場合は、**8** 演奏/停止を押してから、再生させて合わせて演奏します。

レッスン演奏を録音する

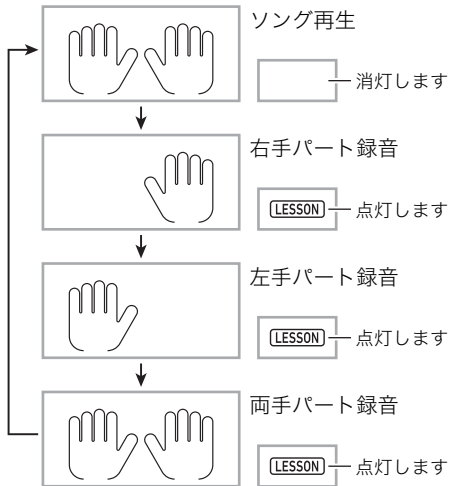
曲に合わせて演奏して、それを録音することができます。録音した内容は、ソングバンクの401番に保存されます。

- 鍵盤演奏のほかに以下の操作や設定も記録できます。
音色番号、テンポ、リバーブ設定、オクターブシフト設定、ペダル操作

メモ

- 曲と一緒に録音できるのは1曲です。新しく録音すると、前に録音したデータは消去されます。

1. **[13]**ソングバンクを押します。
2. **[23]**数字ボタン、**[29]**[-]または[+]を押して、録音したい曲番号を選びます。
3. **[9]**パートセレクトを押して録音するパートを選びます。



- 音色やテンポも設定しておきます。

4. **[14]**録音/停止を押します。

録音の待機状態になります。



- 録音待機状態から抜けるには、**[14]**録音/停止を数回押して、液晶画面上のRECORDインジケータを消灯させてください。

5. **[8]**演奏/停止を押すと、曲の再生と録音がはじまります。

再生に合わせて演奏しましょう。



- 録音を途中で止めるには**[8]**演奏/停止を押します。

6. 曲の再生が終了すると、録音も自動的に終了します。

再生の待機状態になります。

7. **[8]**演奏/停止を押します。

録音した演奏の再生がはじまります。

- **[8]**演奏/停止を押すごとに再生と停止を繰り返します。

曲を消去する

1. **[13]**ソングバンクを押します。
2. **[23]**数字ボタン、**[29]**[-]または[+]で、消去したい曲を選びます。
3. **[14]**録音/停止を押し続けます。
 - ユーザーソング、レッスン演奏の録音データを消去する場合は、“ツツケマスカ?”と表示され、手順4、5はスキップされます。
4. **[23]**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を押して、“キョクショウキョ”を選びます。
5. **[23]**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。“ツツケマスカ?”と表示されます。
6. **[29]**[+](はい)を押します。曲が消去されます。キャンセルするには、**[29]**[-](いいえ)を押します。

特定のトラックを消去する

1. **13** ソングバンクを押します。
2. **28** 数字ボタン、**29** [－] または [＋] で、消去したいトラックのある曲を選びます。
3. **14** 録音/停止を押し続けます。
4. **28** (数字ボタン) の [2] (←) または [3] (→) を押して、“Trk ショウキョ” を選びます。
5. **28** 数字ボタン、**29** [－] または [＋] を押して、消去したいトラックを選びます。
6. **28** (数字ボタン) の [6] (エンター) を押します。
“ツツケマスカ?” と表示されます。
7. **29** [＋] (はい) を押します。
トラックが消去されます。
キャンセルするには **29** [－] (いいえ) を押します。

録音したデータを外部機器に保存する

録音したデータをパソコンに保存することができます。「本機のデータをパソコンに保存する/本機のソングを増やす」(45 ページ) をご参照ください。

機能ボタン(27)で機能設定する

音量や音程をはじめ、さまざまな機能設定を変更できます。

機能を選ぶには

- 27機能を押します。**
液晶画面にFUNCTIONインジケータが点灯します。
- 28(数字ボタン)の[2]()または[3]()を押して機能を選びます。**
 - サブメニューのある機能を選んだ場合は液晶画面にENTERインジケータが点灯するので、さらに数字ボタンの[6](エンター)を押して、[2]()または[3]()でサブメニューを選びます。
 - サブメニューを選んでいるときに[5](戻る)を押すと、1つ前のメニューに戻ります。
 - 選んだ機能の詳細については、以下の表に書かれた参照ページをご参照ください。
- 28数字ボタン、29[-]または[+]を押して、設定値を変更します。**
 - 28(数字ボタン)**を使う場合は、数字ボタンの[0]を押してNUMインジケータを点灯させてから、数値を入力します。
 - 設定値を変更すると、液晶画面のFUNCTIONインジケータが点滅し、表示が設定値の名称に切り替わる場合があります。このとき**27機能**を押すと、機能名の表示に戻ります。**27機能**ボタンを押すたびに、表示を設定値の名称と機能名とで切り替えできます。
- 28(数字ボタン)の[5](戻る)を長押しして、設定を終了します。**
液晶画面のFUNCTIONインジケータが消灯します。

機能番号	機能名	表示	設定値	初期値	参照ページ
1	トランスポーズ	トランスポース	-12~12	0	13
2	オクターブシフト	オクターブ			13
3	トーンパートUpper1のオクターブシフト	U1オクターブ	-3~3	0	13
4	トーンパートUpper2のオクターブシフト	U2オクターブ	-3~3	0	13
5	トーンパートLowerのオクターブシフト	Lオクターブ	-3~3	0	13
6	スプリットポイント	スプリット	36~96	54	12
7	タッチレスポンス	タッチ	1~4	3	8
8	自動伴奏の音量	バンソウVol	0~127	115	26
9	ソングの音量	キョクVol.	0~127	127	16
10	メトロノーム	メトロノーム			9
11	メトロノームの拍子	ヒョウシ	0~9	4	9
12	メトロノームの音量	ボリューム	0~127	127	9
13	コードモード	コードモード	1~5	2	23
14	リバーブ	リバーブ	1~21	11	12
15	コーラス	コーラス	1~11	1	12
16	イコライザー	イコライザー	1~10	1	12
17	プリセットスケール	オンリツ			35
18	プリセットスケールのタイプ	タイプ	1~17	1	35
19	プリセットスケールのルート	ルート	1~12	1	35
20	自動伴奏スケール	バンソウ	オン/オフ	オフ	35
21	チューニング	チューニング	415.5~465.9	440.0	13
22	レッスン	レッスンセッテイ			21
23	運指音声	ウンシオンセイ	オン/オフ	オン	21
24	弾くべき音のガイド	サウンドナビ	オン/オフ	オン	22
25	採点	サイテン	オン/オフ	オン	22
26	フレーズの長さ	フレーズチョウ	1~8	4	22
27	伴奏の簡易化	カンイバンソウ	オン/オフ	オフ	22

機能ボタン(27)で機能設定する

機能番号	機能名	表示	設定値	初期値	参照ページ
28	コードブック	コードブック			27
29	コードのルート	ルート	1~12	1	27
30	コードのタイプ	タイプ	1~25	1	27
31	コードの転回形	テンカイケイ	0~コードのタイプによる	0	27
32	カラオケ設定	カラオケセッテイ			17
33	マイクエフェクト	マイクエフェクト	1~4	3	18
34	メロディーパートチャンネル	メロディCh.	1~16	4	17
35	MIDI	MIDIセッテイ			44
36	キーボードチャンネル	キーチャンネル	1~16	1	44
37	ナビゲート	ナビゲート			44
38	ナビゲート機能のオンオフ	ナビオンオフ	オン/オフ	オン	44
39	右手ナビゲートチャンネル	RナビCh.	1~16	4	44
40	左手ナビゲートチャンネル	LナビCh.	1~16	3	44
41	ナビゲート機能でのレッスン	ナビレッスン	1~4	1	44
42	ローカルコントロール	ローカル	オン/オフ	オン	44
43	アンプアウト	アンプアウト	オン/オフ	オフ	44
44	メディア	メディア			37
45	その他	ソノタセッテイ			
46	ペダルの効果	ペダル	1~4	1	13
47	右手(メロディ)パートチャンネル	ミギテCh.	1~16	4	22
48	左手パートチャンネル	ヒダリテCh.	1~16	3	22
49	ミュージックプリセットのキー変更	MPキーセッテイ	-5~6	0	27
50	センターキャンセル(ボーカルカット)	センタキャンセル	オン/オフ	オフ	45
51	キーライト	キーライト	オン/オフ	オン	8
52	液晶画面の鍵盤	LCDケンパン	1, 2	1	35
53	液晶画面のコントラスト	コントラスト	1~17	5	8
54	電源切り忘れお知らせ機能	キリワスレツウチ	オン/オフ	オン	7
55	オートパワーオフ	ジドウオフ	オン/オフ	オン	7
56	リセット	リセット			36
57	セッティングリセット	セッテイリセット	—	—	36
58	ファクトリーリセット	スベテリセット	—	—	36

❗ 重要

- 音色などの各種設定は、本機の電源を入れなおすと初期値に戻ります(7ページ)。
- 電源を切っても、以下の設定は保存されます。
イコライザー、チューニング、液晶画面の鍵盤、液晶画面のコントラスト、ソングの音量、マイクエフェクト

鍵盤の音律(スケール)を変えてみる

下記の17種類のプリセットスケールから、好きなスケールを選ぶことができます。

設定値	スケール名	表示
01	平均律	ヘイキンリツ
02	純正律長調	ジュンセイチョ
03	純正律短調	ジュンセイタン
04	ピタゴラス音律	ピタゴラス
05	キルンベルガー第Ⅲ法	キルンベルガ
06	ヴェルクマイスター 第1技法第3法	ベルクマイスタ
07	ミーントーン(中全音律)	ミーントーン
08	ラスト(Rast)	ラスト
09	バヤティ(Bayati)	バヤティ
10	ヒジャーズ(Hijaz)	ヒジャーズ
11	サバ(Saba)	サバ
12	ダシュティ(Dashti)	ダシュティ
13	チャハルガー(Chahargah)	チャハルガー
14	セガー(Segah)	セガー
15	グジャリ・トーディ (Gurjari Todi)	グシャリトデ
16	チャンドラコウンス (Chandrakauns)	チャンドラコウ
17	チャルケシ(Charukeshi)	チャルケシ

1. 27機能を押して、28(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“オンリツ”と表示させます。

オンリツ

2. 28(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。

01タイプ°

3. 28数字ボタン、29[-]または[+]を押して、設定するスケールを選びます。

4. 28(数字ボタン)の[3](→)を押して、液晶画面に“ルート”と表示させます。

01ルート

5. 28数字ボタン、29[-]または[+]を押して、ルートを選びます。

6. 28(数字ボタン)の[5](戻る)を長押しして、設定を終了します。

設定したスケールで自動伴奏を鳴らしてみる

設定したスケールの音で自動伴奏を鳴らすことができます。

1. 27機能を押して、28(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“オンリツ”と表示させます。

オンリツ

2. 28(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。

3. 28(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を押して、液晶画面に“ハンソウ”と表示させます。

ハンソウ

4. 29[+]を押して、オンに設定します。

液晶画面の鍵盤表示

液晶画面の鍵盤表示を変更できます。33ページ「機能ボタン(27)で機能設定する」の機能番号52をご参照ください。

設定値	表示	内容
1	タイプ 1	通常は黒鍵が点灯し、弾いた黒鍵が消灯します。
2	タイプ 2	通常は黒鍵が消灯し、弾いた黒鍵が点灯します。

本機に記録されているデータを まとめて消去する

データや設定などシステムの内容をすべてリセットして、工場から出荷したときの状態に戻すことができます。

❗ 重要

- この消去を実行すると、ユーザーソングや録音した曲(29ページ)のデータも消去されます。大切なデータはパソコン(45ページ)に保存しておかれることをお勧めします。

1. 27機能を押し、28(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“ソノタセット”と表示させます。
2. 28(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
3. 28(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“リセット”と表示させます。
4. 28(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
5. 28(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を押して、液晶画面に“スベテリセット”と表示させます。
6. 28(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
消去を確認する画面が表示されます。

ツツ` ケマスカ？

7. 29[+] (はい)を押してください。
実行した場合、画面に“オマチクダサイ”と表示され、完了後自動的に本機が再起動します。
 - キャンセルするには、29[-] (いいえ)または28(数字ボタン)の[5](戻る)を押してください。

機能ボタンで設定した内容をまとめてリセットする

機能ボタンで設定した内容をすべて工場から出荷したときの状態に戻すことができます。

33ページ「機能ボタン(27)で機能設定する」の機能番号57をご参照ください。

USB メモリーを使用する

本機では、市販のUSBメモリーを使用して以下のことができます。

- USBメモリーをフォーマットする
- USBメモリーへデータを保存する
- USBメモリーのデータを本機へ読み込む
- USBメモリーのデータを消去する
- USBメモリーのデータ名を変更する
- 本機内の対象データを一括してUSBメモリーに保存する/USBメモリーから対象データを一括して本機へ読み込む

■保存や読み込みができるデータの種類と内容

データの種類	表示	本機でできること				拡張子
		USBメモリーから読み込む	USBメモリーに保存する	USBメモリーのデータを消去する	USBメモリーのデータ名を変更する	
ユーザーソング	ユーザソング	○	×	○	○	CMF、MID [※] 、CM2
ユーザー録音曲 (内蔵曲のレッスン演奏)	レッスンロクオン	○	○	○	○	LRF
ユーザー録音曲 (鍵盤演奏)	ロクオンキョク	○	○	○	○	MRF
ユーザー録音曲 (鍵盤演奏)(SMF)	ロクオンSMF	×	○	×	×	MID
全データ	オールデータ	○	○	○	○	DAL

※一般的なMIDIファイル:SMFフォーマット0、1

USBメモリーとUSBメモリー端子の取扱い上のご注意

❗ 重要

- USBメモリーに付属している取扱説明書の注意事項をお守りください。
- 以下のような場所での保管や使用は避けてください。USBメモリー上のデータが壊れる場合があります。
 - ・高温多湿、または腐食性のある場所
 - ・強い静電気や電氣的ノイズの発生しやすい場所
- データを保存したり読み込んでいるときには、本機を操作したりUSBメモリーを取り外したりしないでください。USBメモリーのデータが壊れたり、USBメモリー端子が故障したりする場合があります。
- USBメモリー端子には、USBメモリー以外は決して入れないでください。故障の原因となります。
- 長時間使用すると、取り外したUSBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- USBメモリー端子に、手やUSBメモリーから静電気が伝わると、本機が誤動作する場合があります。このような場合は、一度本機の電源を切ってから、再び電源を入れてください。

著作権について

個人で楽しむなどのほかは、音声／音楽フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルを有償・無償に関わらず権利者に無断でネット上で記載したり、第三者に配布することも著作権法や国際条約で固く禁止されています。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

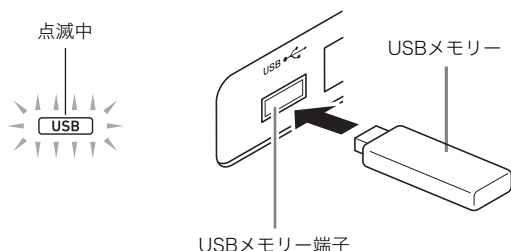
USBメモリーを本機に装着する・取り外す

重要

- USBメモリー端子には、USBメモリー以外は差し込まないでください。
- USBメモリーを本機に装着して最初にUSBメモリーを操作するとき、あるいは電源投入後に最初にUSBメモリーを操作するとき、本機のシステムがUSBメモリーとデータをやり取りする準備(マウント)を行うため、一時的に本機の操作ができなくなる場合があります。マウント中は、液晶画面に“マウントチュウ”と表示されます。本機がマウントを完了し、操作が可能になるまで数十秒間かかることがあります。マウント中は、本機を操作しないでください。マウントは、本機にUSBメモリーを装着するたびに実行されます。

装着するとき

1. 下図のように、USBメモリーを本機のUSBメモリー端子へ差し込みます。
 - 確実に奥まで差し込んでください。また、無理な挿入はしないでください。



メモ

- USBメモリー内のデータを選ぶ場合、FUNCTIONインジケーターが点滅します。この状態で**27**機能を押すと、データの拡張子が表示されます。もう一度**27**機能を押すと、ファイル名表示に戻ります。

取り外すとき

1. データをやり取り中でないことを確認してから、USBメモリーを水平にしたまま抜きます。

USBメモリーをフォーマットする

重要

- 最初に、必ず本機でUSBメモリーをフォーマットしてください。
- フォーマットする前に、USBメモリーに大切なデータが保存されていないことをご確認ください。
- 本機でのフォーマットは、クイックフォーマットを実行します。データを完全に消去するにはパソコンなどで通常のフォーマットを行ってください。

＜対応USBメモリーについて＞

本機は、FAT32またはexFATでフォーマットされたUSBメモリーに対応しています。FAT32またはexFAT以外でフォーマットされたUSBメモリーは、Windowsのフォーマット機能で一度、ファイルシステムをFAT32またはexFATに指定してフォーマット(クイックフォーマットを除く)してください。

重要

- exFATフォーマットの場合、長い名前のファイルがあると、読み込めるファイル数に制限がかかることがあります。

1. フォーマットするUSBメモリーを、本機のUSBメモリー端子に装着します。
2. **27**機能を押して、**28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“メディア”と表示させます。
3. **23**[6](エンター)を押します。
4. **23**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“フォーマット”と表示させます。
5. **23**[6](エンター)を押します。
 - 画面に“ツツケマスカ?”と表示されます。
6. **29**[+](はい)を押します。
 - フォーマットを中止したいときは、**29**[-](いいえ)を押します。
 - 画面に“オマチクダサイ”(実行中)と表示されます。この間は、本機の操作を一切行わないでください。フォーマットが終了すると、画面に“シュウリョウ”(完了)と表示されます。

本機のデータをUSBメモリーに保存する

本機のメモリーに入っているデータを、USBメモリーに保存できます。

1. USBメモリーを、本機のUSBメモリー端子に装着します。
2. 液晶画面に“ロード”と表示されるまで、**26**ユーザー/USBソング(📶ロード/セーブ)を押し続けます。
3. **28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“セーブ”と表示させます。
4. **28**[6](エンター)を押します。
5. **28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って保存したいデータの種類の種類を表示させます。
6. **28**[6](エンター)を押します。
7. **28**数字ボタン、**29**[-]または[+]を押して保存したいデータを表示させます。
8. **28**[6](エンター)を押します。
 - 手順5で、データの種類の“オールデータ”または“レッスンロクオン”を選んだ場合、この手順はスキップされます。
9. 必要に応じてデータ名を変更します。
 - (1) ボタン**28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って、変更したい文字にカーソル(■)を移動します。
 - (2) **29**[-]または[+]を使って、文字を切り替えます。
 - ファイル名の文字は41ページ「使用できる文字一覧」をご参照ください。
10. **28**[6](エンター)を押します。
 - 画面に“ツツケマスカ?”と表示されます。
11. **29**[+](はい)を押します。
 - 保存を中止したいときは、**29**[-](いいえ)を押します。
 - 画面に“オマチクダサイ”(実行中)と表示されます。この間は、本機の操作を一切行わないでください。保存が終了すると、画面に“シュウリョウ”(完了)と表示されます。

USBメモリーから本機へデータを読み込む

USBメモリーに保存してあるデータを、本機に読み込みます。

❗ 重要

- 読み込むデータ(ファイル)は、“MUSICDAT”フォルダの中に保存してください。

1. USBメモリーを、本機のUSBメモリー端子に装着します。
2. 液晶画面に“ロード”と表示されるまで、**26**ユーザー/USBソング(📶ロード/セーブ)を押し続けます。
3. **28**[6](エンター)を押します。
4. **28**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使ってロードしたいデータの種類の種類を表示させます。
5. **28**[6](エンター)を押します。
6. **28**数字ボタン、**29**[-]または[+]を押してロードしたいデータを表示させます。
7. **28**[6](エンター)を押します。
8. **28**数字ボタン、**29**[-]または[+]を押してロード先となる本機のユーザーエリアを表示させます。
9. **28**[6](エンター)を押します。
 - 手順4で、データの種類の“オールデータ”または“レッスンロクオン”を選んだ場合、この手順はスキップされます。
 - 画面に“ツツケマスカ?”と表示されます。既に同じデータが存在する場合は、“カキカエマスカ?”と表示されます。
10. **29**[+](はい)を押します。
 - ロードを中止したいときは、**29**[-](いいえ)を押します。
 - 画面に“オマチクダサイ”(実行中)と表示されます。この間は、本機の操作を一切行わないでください。読み込みが終了すると、画面に“シュウリョウ”(完了)と表示されます。

USBメモリーのデータを消去する

USBメモリーに保存しているデータ(ファイル)を消去します。

1. USBメモリーを、本機のUSBメモリー端子に装着します。
2. 液晶画面に“ロード”と表示されるまで、**26**ユーザー/USBソング(**⬇**ロード/セーブ)を押し続けます。
3. **23**(数字ボタン)の[2](**⬅**)または[3](**➡**)を使って液晶画面に“ショウキョ”と表示させます。
4. **23**[6](エンター)を押します。
5. **23**(数字ボタン)の[2](**⬅**)または[3](**➡**)を使って消去したいデータの種類の種類を表示させます。
6. **23**[6](エンター)を押します。
7. **23**数字ボタン、**29**[-]または[+]を押して消去したいデータを表示させます。
8. **23**[6](エンター)を押します。
 - 画面に“ツツケマスカ?”と表示されます。
9. **29**[+](はい)を押します。
 - 消去を中止したいときは、**29**[-](いいえ)を押します。
 - 画面に“オマチクダサイ”(実行中)と表示されます。この間は、本機の操作を一切行わないでください。消去が終了すると、画面に“シュウリョウ”(完了)と表示されます。

USBメモリーのデータ名を変更する

1. USBメモリーを、本機のUSBメモリー端子に装着します。
2. 液晶画面に“ロード”と表示されるまで、**26**ユーザー/USBソング(**⬇**ロード/セーブ)を押し続けます。
3. **23**(数字ボタン)の[2](**⬅**)または[3](**➡**)を使って液晶画面に“ナマエヘンコウ”と表示させます。
4. **23**[6](エンター)を押します。
5. **23**(数字ボタン)の[2](**⬅**)または[3](**➡**)を使って名前を変更したいデータの種類の種類を表示させます。
6. **23**[6](エンター)を押します。
7. **23**数字ボタン、**29**[-]または[+]を押して名前を変更したいデータを表示させます。
8. **23**[6](エンター)を押します。
9. データの名前を変更します。
 - (1) ボタン**23**(数字ボタン)の[2](**⬅**)または[3](**➡**)を使って、変更したい文字にカーソル(**■**)を移動します。
 - (2) **29**[-]または[+]を使って、文字を切り替えます。
 - ファイル名の文字は41ページ「使用できる文字一覧」をご参照ください。
10. **23**[6](エンター)を押します。
 - 画面に“ツツケマスカ?”と表示されます。既に同じ名前のデータが存在する場合は、“カキカエマスカ?”と表示されます。
11. **29**[+](はい)を押します。
 - ロードを中止したいときは、**29**[-](いいえ)を押します。

一般の曲データをパソコンでUSBメモリーにコピーする

USBメモリーの“MUSICDAT”フォルダに下記の形式のファイルを保存して、本機で再生することができます。

- 標準MIDIファイル(SMFフォーマット0/1)またはカシオMIDIファイル(CMF形式、またはCM2形式)

1. USBメモリーをパソコンにつなぎます。
2. USBメモリーのルートディレクトリに、“MUSICDAT”という名前のフォルダを作成します。
 - すでに“MUSICDAT”フォルダがある場合は、この手順は不要です。
3. 本機で再生したい曲データを、USBメモリー内のMUSICDATフォルダにコピーします。
 - 曲データの再生操作については、17ページ「USBメモリーのソングを再生する」をご参照ください。

使用できる文字一覧

本機でファイル名を入力する場合、フォーマットの種類によって使用できる文字が異なります。フォーマットについては、38ページ「USBメモリーをフォーマットする」の「＜対応USBメモリーについて＞」をご参照ください。

• FAT32の場合

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	\$	&	_	'
(	)	-	^	{	}	@	~	`	

• exFATの場合

	!	#	\$	%	&	'	(	)	+	,	-	.
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	;	=	@
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
[	]	^	_	`	a	b	c	d	e	f	g	h
i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u
v	w	x	y	z	{	}	~					

重要

- 上記以外の文字をファイル名に使用している場合、本機の液晶画面では正しいファイル名が表示されず、ファイルが使用できない場合があります。

アプリケーションとリンクして使おう(アプリリンク)

本機はスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスと接続し、専用アプリを使うことで、より楽しむことができます。

本機とスマートデバイスとの接続には、USBケーブルかオーディオケーブルを使用します。接続するケーブルによって使用できる機能が異なります。

重要

- 接続するスマートデバイスは、機内モードなどのモバイルデータ通信を行わない設定にしてください。
- USBケーブルとオーディオケーブルは同時にスマートデバイスに接続しないでください。

専用アプリ(ソングバンクプラス)をダウンロードする

以下のページから専用アプリ(ソングバンクプラス)をダウンロードして、お使いのスマートデバイスにインストールしてください。

<https://web.casio.com/app/ja/>



重要

- アプリの対応機種およびアプリ名(ソングバンクプラス)を確認の上、ダウンロードしてください。

USBケーブルを使う

USBケーブルを使って、本機をスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスと接続すると、専用アプリの操作だけで、ダウンロードしたソングを本機のユーザーソングとして転送したり、アプリのレッスン機能を使って楽しめます。本機に転送したソングは再生するだけでなく、レッスン機能でメロディーを演奏したり、カラオケ機能と一緒に歌ったりできます。

メモ

- USBケーブルでの接続には、市販のUSBケーブルのほか、接続機器が必要です。必要な機器は、お使いのスマートフォンやタブレットによって異なります。
- スマートフォンやタブレットによっては、USBケーブルでの接続に対応していないものもあります。
- ソングはアプリ上で購入する必要があります。また、SMFを転送することも出来ます。

保存曲数: 最大200曲(ユーザーソングエリア)

1曲あたりの上限サイズ: 約320キロバイト

オーディオケーブルを使う

本機をスマートデバイスとオーディオケーブルで接続し、専用アプリを使うと、アプリでダウンロードしたソングを本機のユーザーソングとして転送できます。

保存曲数: 最大200曲(ユーザーソングエリア)

メモ

- オーディオケーブルを使用する場合、サイズが60キロバイト以上の曲は転送できないことがあります。

重要

- 本機のアプリリンクがオンになっていない状態で、アプリからアプリリンク用のデータを送信しないでください。
- 以下の状況では、本機からデータ転送音が聞こえることがあります。
 - 液晶画面のアプリリンクインジケーターが点灯していない場合にアプリリンクを使ったとき
 - アプリの楽器接続がオンになっているとき
 - 保存モードでソングデータを転送しているとき

ソングを転送する

1. 本機の**46**AUDIO IN端子とスマートデバイスのヘッドホン端子を付属のオーディオケーブルで繋ぎます。

重要

- 抵抗入りのオーディオケーブルは使用しないでください。

2. **25**アプリリンクを押します。

“ツツケマスカ?”と表示されます。

3. **29**[+](はい)を押します。

メモ

- アプリリンクの使用中は、アプリリンクに関するボタンや鍵盤だけが、操作できます。
- アプリリンクモード中は、オーディオケーブルを抜き差ししないでください。

4. スマートデバイスでアプリを立ち上げます。

5. 転送するソングの保存先を指定したい場合は、**28**数字ボタン、**29**[-]または[+]を押して保存するソングバンク番号を選びます。

- 何も指定しない場合は、空いているソングバンク番号が自動的に選ばれます。

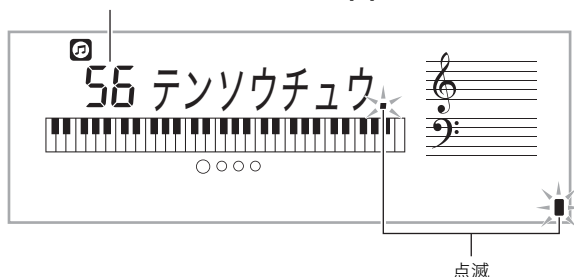
メモ

- 保存できるのはソングバンクのユーザーソング番号の範囲内です。
- 液晶画面のテンポ・小節表示部にメモリー残量を表示します(単位:100バイト)。

6. アプリ操作にしたがってソングを転送します。

- アプリ操作でレベル設定を行う場合があります。液晶画面に“レベルOK”と表示されていることを確認してください。
- 転送が開始すると“テンソウチュウ”と表示されアプリリンクセグメントが点滅します。
- 転送と保存が完了すると、液晶画面に“テンソウOK”と表示された後、アプリリンクインジケーターが消灯してソングバンクの画面になります。

どのくらい転送したか(単位:パーセント[%])



メモ

- 選んだユーザーソング番号にすでにデータが入っている場合は、上書き確認の画面“カキカエマスカ?”が表示されます。上書きする場合は**29**[+](はい)を押します。**29**[-](いいえ)を押すと、空いている番号へ保存されます。
- 本機に保存したユーザーソングを消去する方法は、31ページ「曲を消去する」を参照してください。
- ソングを転送せずにアプリリンクを終了する場合は、もう一度**25**アプリリンクを押します。液晶画面のアプリリンクインジケーターが消灯します。

エラーメッセージ一覧

データの転送に失敗したときなどには、以下のメッセージが液晶画面に表示されます。



- エラーメッセージは、**27**機能ボタン、**23**数字ボタンの[5](戻る)、**29**[+]ボタンのいずれかのボタンを押すと消えます。

表示	原因	解決方法
Err ツウシン フリョウ	1. オーディオケーブルが抜けている。 2. アプリでのデータ転送が中断された。	1. オーディオケーブルを正しく接続して、転送をやり直してください。 2. アプリを立ち上げて、転送をやり直してください。
Err メモリー フル	曲データを転送すると、保存できる容量(最大16メガバイト)を超えてしまう。	アプリからの転送をキャンセルし、不要なユーザーソングを上書きまたは消去して、空き容量を増やしてください。
Err データフル	曲データを転送すると、保存できる数(最大200曲)を超えてしまう。	不要なユーザーソングを上書きまたは消去して、空き容量を増やしてください。
Err サイズオ オキイ	転送する曲データが、保存できる上限(320キロバイト)を超えてしまう。	その曲データは転送できません。
Err コワレタ データ	アプリからデータを転送するとき、本機で正しく受信できなかった。	転送をやり直してください。
Err アプリニ ハイル	アプリリンクがオンになっていない状態で、アプリからのデータを受信した。	アプリリンクをオンにして、転送をやり直してください。
Err カキコメ ナカット	データの保存に失敗した。	他のエリアで転送をやり直してください。
Err ケセナ カット	上書き転送の際、データの消去に失敗した。	転送をやり直してください。
Err レベルオ オキイ	アプリのレベル設定が大きすぎる。	アプリのレベル設定をやり直してください。
Err レベルチ イサイ	アプリのレベル設定が小さすぎる。	アプリのレベル設定をやり直してください。
Err イジョウ ハケイ	通信している波形が乱れていて受信できない。	デバイスのエフェクト設定等を見直してください。

他の外部機器と接続する

パソコンとつなぐ

本機とパソコンを接続して演奏情報(MIDIデータ)の送受信ができます。楽器演奏をパソコンの音楽ソフトで録音したり、パソコンから本機へデータを送って音を鳴らすことができます。

パソコンの動作環境

MIDIデータを送受信するために必要なパソコン環境は下記のとおりです。お手持ちのパソコン環境を必ず事前にご確認ください。

● 対応OS

Windows 7 ※1

Windows 8.1 ※2

Windows 10 ※3

macOS (OS X/Mac OS X) 10.7、10.8、10.9、10.10、10.11、10.12、10.13

※1 Windows 7(32bit版、64bit版)

※2 Windows 8.1(32bit版、64bit版)

※3 Windows 10(32bit版、64bit版)

● USB端子



- 上記の対応OS以外のパソコンを接続すると、パソコンが故障する場合があります。絶対に接続しないでください。



- 対応OSについての最新のサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

<https://casio.jp/support/emi/>

接続方法

❗ 重要

- 正しい手順で接続しないとデータの送受信ができなくなる場合があります。必ず次の手順に従って接続してください。

1. 本機の電源を切り、パソコンを起動させておきます。
 - パソコンの音楽ソフトは起動させないでください。
2. 市販のUSBケーブルで、パソコンと本機を接続します。
 - ケーブルは、USB2.0または1.1のA-Bコネクタタイプを使用してください。
3. 本機の電源を入れます。
 - 初めての接続では、データを送受信するために必要なドライバが自動でパソコンにインストールされます。
4. パソコンの音楽ソフト(市販品)を起動させます。
5. パソコンの音楽ソフト(市販品)の設定で、MIDIデバイスとして「CASIO USB-MIDI」を選びます。
 - MIDIデバイスの選択方法については、お使いの音楽ソフトのマニュアルをご覧ください。

❗ 重要

- パソコンの音楽ソフトを起動させる前に、必ず本機の電源を入れておいてください。
- ソングの再生中(15ページ)は、データを送受信することができません。

各種MIDI設定

キーボードチャンネル

本機の鍵盤での演奏情報を、パソコンに送信するときに使うチャンネルを設定します。

設定方法は、33ページ「機能ボタン(27)で機能設定する」を参照してください。

ナビゲート機能

パソコンから本機へ送られる演奏情報の中で、特定のチャンネル(パート)の音だけを画面の表示でガイドさせることができます。このチャンネルのことをナビゲートチャンネルといいます。

設定方法は、33ページ「機能ボタン(27)で機能設定する」を参照してください。

■ナビゲート機能のオンオフ

ナビゲート機能をオフにすると、液晶画面のガイド表示はされません。

■右手ナビゲートチャンネル

右手パートのチャンネルを選択します。

■左手ナビゲートチャンネル

左手パートのチャンネルを選択します。

■ナビゲート機能でのレッスン

右手ナビゲートチャンネルおよび左手ナビゲートチャンネルで設定したチャンネルの音を消して、自分で弾くことができます。

設定値	表示	内容
1	リッスン	右手、左手両パートの音が出るので、音を聞いて確認できます。
2	ミギテ	右手パートの音が消えるので、右手パートを弾いて練習できます。
3	ヒダリテ	左手パートの音が消えるので、左手パートを弾いて練習できます。
4	リョウテ	両手パートの音が消えるので、両手の練習ができます。

ローカルコントロール

本機の鍵盤を弾いて外部音源の音を鳴らす場合に、本機で弾いた音が出ないように設定できます。

設定方法は、33ページ「機能ボタン(27)で機能設定する」を参照してください。

アカンブアウト

自動伴奏の演奏情報を送信するかどうかを設定できます。

設定方法は、33ページ「機能ボタン(27)で機能設定する」を参照してください。

本機のデータをパソコンに保存する/ 本機のソングを増やす

録音した曲などのデータをパソコンに転送して保存したり、そのデータをいつでも本機に転送して戻すことができます。また一般的な楽曲MIDIファイル(SMF)や、カシオのホームページからダウンロードしたソングを本機に転送すれば、ソングバンク曲を増やすこともできます。データの転送には、専用のアプリケーションソフト(データマネージャー)が必要です。

転送できるデータの種類について

本機はパソコンとの間で、下記のデータを転送できます。

データの種類	内容
ユーザーソング (17ページ)	パソコンから読み込んだソングデータ (本機からパソコンへ送信することはできません)
録音した曲 (29ページ)	演奏を記録したデータ

データマネージャーをダウンロードする

- 以下のホームページから、データマネージャーと操作マニュアルをダウンロードして、お手持ちのパソコンに保存します。

<https://casio.jp/support/emi/>

- 本機の製品紹介のページにデータマネージャーのページへのリンクが貼られています。製品紹介のページが見つからない場合は、上記ホームページの検索フォームに本機の製品名を入力して検索してください。
- ダウンロードする前に、データマネージャーを使用するために必要なパソコン環境などについて、必ずご確認ください。
- ホームページの内容は、予告なく変更される場合があります。

- 手順1でダウンロードした操作マニュアルに従って、データマネージャーをインストールしてから、データ転送を行ってください。

- 自動伴奏データの機種互換性については、手順1でダウンロードしたデータマネージャーの操作マニュアルをご覧ください。

オーディオ機器とつなぐ

市販のステレオやアンプに接続して大きな音量で鳴らしたり、録音機器に接続して本機での演奏を録音したりできます。また、携帯オーディオプレーヤーなどの音を本機で鳴らしながら、それをバックに演奏して楽しむことができます。

本機の音を外部機器で鳴らす

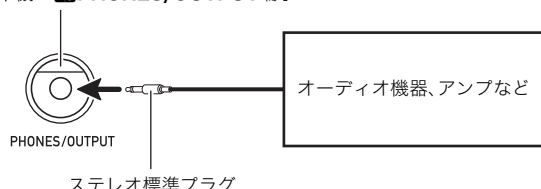
接続には市販の接続コードが使用できます。

- 片側がステレオ標準プラグ、もう一方は外部機器の入力端子に接続できるものをご用意ください。

重要

- 接続するときはすべての外部機器の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
- 接続した後は本機、外部機器の順番で電源を入れてください。
- 外部機器で鳴らした本機の音が歪んだ音で聴こえる場合は、本機の音量を下げてください。

本機の **PHONES/OUTPUT** 端子



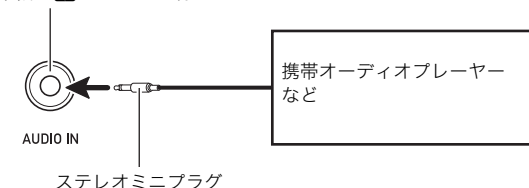
外部機器の音を本機で鳴らす

接続には付属のオーディオケーブルを使用します。

重要

- 接続するときは本機の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
- 接続した後は外部機器、本機の順番で電源を入れてください。
- 本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聴こえる場合は、外部機器の音量を下げてください。

本機の **AUDIO IN** 端子



センターキャンセル(ボーカルカット)

オンにすると、オーディオ入力端子から入力された音のボーカルをカット(消去、低減)します。センター定位の音をキャンセルする機能ですので、ボーカル以外の音もカットされる場合があります。効果の度合いは、入力する音によって異なります。設定方法は、33ページ「機能ボタン(27)で機能設定する」を参照してください。

困ったときは

状況	対策
付属品	
梱包箱のなかに付属品が見つからない。	緩衝材の中も探してみる。
電源	
電源が入らない。	- ACアダプターの接続状態や、電池の装着方向が正しいか確認する(5ページ)。 - 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
⏻ボタン(❶)を押すと、液晶画面が一瞬点灯し、電源が入らない。	❶をしっかりと押し直してください。
大きな音を出すと、突然電源が切れる。	新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
30分ほど弾かないでいると、突然電源が切れる。	オートパワーオフ機能を解除する(7ページ)。
表示	
数分ほど弾かないでいると、急に鍵盤が光りはじめて、鍵盤やボタンを押すと元に戻る。	電源切り忘れお知らせ機能をオフにする(7ページ)。
液晶画面の表示が暗くなったり、ちらついたりするようになった。	新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
液晶画面の鍵盤や楽譜表示で、音の表示が点灯したままになった。	ステップアップレッスンで、次の音の鍵盤が弾かれるのを待っている状態です。レッスンを停止させると、音の表示も消灯します(19ページ)。
液晶画面の表示が一定の方向からしか見えない。	本機の製造上の制約等によるもので、故障ではありません。
音	
鍵盤を弾いても音が出ない。	- 音量の設定(7ページ)を変えてみる。 - 本機背面の❷にプラグが差さっていないか確認する。 - 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
左側の鍵盤だけ音が出ない(あるいは通常と違う音が鳴る)。	❸を押して、自動伴奏のコード入力ができる状態を解除する(23ページ)。
自動伴奏をスタートしても音が出ない。	- リズム番号の171～180は、コードを入力しないと音が鳴らないリズムパターンです。コードを入力してみてください(24ページ)。 - 伴奏の音量の設定(26ページ)を確認して調整する。 - 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
ソングの自動演奏をスタートしても音が出ない。	- ボタンを押してからソングが始まるまでに少し時間がかかります。ソングが始まるまで少しお待ちください。 - 曲の音量の設定(16ページ)を確認して調整する。 - ソング番号の201～406は、ソングデータが保存されていない場合には❹を押してもソングがスタートしません(17ページ)。 - 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
メトロノームの音が鳴らない。	- メトロノームの音量の設定(33ページ)を確認して調整する。 - 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
音が鳴りっぱなしで止まらなくなった。	- 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。 - 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
鳴らしている音が途切れてしまう。	同時に鳴っている音の数が48(音色によっては24)を超えると発生します。故障ではありません。

状況	対策
音量や音質が変わってしまった。	• 音量の設定(7ページ)やイコライザーの設定(12ページ)を変えてみる。 • 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。 • 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
鍵盤を弾くタッチを変えても、出る音の音量が変わらない。	• タッチレスポンスの設定(8ページ)を変えてみる。 • 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
特定の鍵盤の音量や音質が、他の鍵域の鍵盤と若干違って聴こえる。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。
端の方の鍵盤を弾いていると、同じオクターブの音が繰り返されるように聴こえる音色がある。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。
音の高さが他の楽器とあわない(あるいは不自然に聴こえる)。	• トランスポーズ(13ページ)やチューニング(13ページ)の設定を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
音の響きが急に変わったように感じる。	• リバープの設定(12ページ)を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
操作	
ソングの早送りや早戻しをすると、1小節ごとではなく何小節もまとめて移動してしまう。	ソングの停止中、またはステップアップレッスン中に早送りや早戻しをすると、フレーズ単位で移動します(15ページ)。
電源を入れなおすと、音色、リズムなどの設定が元に戻ってしまう。	本機では、電源を入れなおすと各種設定が初期化されます(7ページ)。
パソコンとの接続	
MIDIデータの送受信ができない。	• 本機とパソコンがUSBケーブルで正しく接続されているか、あるいはパソコンの音楽ソフトの設定でデバイスが正しく選ばれているか確認する(44ページ)。 • 本機の電源を切ってパソコンの音楽ソフトを終了させてから、本機の電源を入れてパソコンの音楽ソフトを再起動させてみる。

エラー表示一覧

表示	原因	解決方法
Err リミット	1000小節以上録音しようとした。	999小節までで録音を終える。
Err メモリーフル	1曲あたりの容量を超えて録音しようとした。	1曲あたりの容量内で録音する。
Err データフル	曲を6曲以上録音しようとした。	曲を削除する。
Err メディアナシ	本機のUSBメモリー端子にUSBメモリーが正しくセットされていない。	USBメモリー端子にUSBメモリーを正しくセットする。
	操作の途中でUSBメモリーが抜き差しされた。	本機の操作中にはUSBメモリーを動かさない。
	USBメモリーがプロテクトされている。	USBメモリーのプロテクトを解除する。
	USBメモリーにウイルス対策ソフトが入っている。	ウイルス対策ソフトが入っていないUSBメモリーを使う。
	データのファイル名が本機で扱えないものになっている。	41ページ「使用できる文字一覧」を参照し、正しいファイル名にしてください。
Err ファイルナシ	“MUSICDAT”フォルダの中に読み込みや再生ができるファイルがない。	読み込みや再生したいファイルを“MUSICDAT”フォルダの正しい場所へ移動する。
Err データナシ	データがないユーザーデータを保存しようとした。	データが存在しているユーザーデータを選ぶ。
Err リードセンヨウ	USBメモリーに入っている読み込み専用ファイルと同じ名前で、別データを保存しようとしている。	別の名前に変えてから保存する。
		USBメモリーのファイルから読み込み専用属性をはずして、上書き保存する。
		別のUSBメモリーを使う。
Err メディアフル	USBメモリーの空き領域が足りない。	USBメモリーに保存しているファイルを消去して、空き領域を増やす。または別のUSBメモリーを使う。
Err ファイルオオイ	USBメモリー内のファイル数が上限になっている。	USBメモリーに保存しているファイルを消去してファイル数を減らす。
Err NotSMF01	SMFフォーマット2の曲データを再生しようとした。	本機で再生できるSMFのフォーマットは、“0”または“1”です。
Err サイズオオキイ	USBメモリーのSMFファイルのサイズが大きすぎて本機で再生・読み込みできない。	約320キロバイト以下のSMFファイルを取り扱えます。
Err データフリオウ	USBメモリーのデータが壊れている。	－
	USBメモリーのデータが本機で操作できない内容になっている。	－
Err フォーマット	USBメモリーのフォーマットが本機に適合していない。	本機でUSBメモリーをフォーマットする。
	USBメモリーが壊れている。	別のUSBメモリーを使う。

製品仕様

型式	LK-512
鍵盤	61鍵盤
タッチレスポンス機能	3種類、オフ
光ガイド機能	最大同時発光数:10鍵
同時発音数	最大48音(一部音色では最大24音)
音色機能	
プリセット音色	600音色
その他	レイヤー、スプリット、ピアノ/オルガンボタン
リバーブ機能	20種類、オフ
コーラス機能	10種類、トーン
メトロノーム機能	
拍子	0～9拍子
テンポ	20～255
ソングバンク機能	
内蔵曲	200曲
ユーザーソング	200曲※
ユーザー録音曲	6曲(録音機能参照)※
ステップアップレッスン機能	
レッスンの種類	3種類(レッスン1/2/3)、らくらくモード
レッスンパート	左手、右手、両手
その他	リピート、運指音声、弾くべき音のガイド、採点
自動伴奏機能	
プリセットリズム	180種類
コードブック機能	コード音のガイド
録音機能	
鍵盤演奏録音	リアルタイム録音、再生
ソングバンク曲にあわせての録音	5曲、6トラック
メモリー容量	1曲(左手、右手、両手)
	約40,000音符(1曲あたり)
その他の機能	
トランスポーズ	±1オクターブ(−12 ～ 0 ～ +12半音)
オクターブシフト	アッパー1/アッパー2/ロワー、±3オクターブ
チューニング	A4=415.5 ～ 465.9Hz(初期値: 440.0Hz)
スケール	プリセットスケール17種類
ミュージック プリセット	310種類
ワンタッチプリセット	180種類
MIDI機能	16chマルチティンバー受信、GMレベル1準拠
ミュージカルインフォメーション機能	音色・自動伴奏・ソングバンクの番号および名称、五線譜、運指、ペダル、テンポ、小節数・拍子、コード名等
USBメモリー	SMF直接再生、フォーマット、曲データの保存、曲データの読み込み、曲データの消去
アプリリンク機能	オーディオ入力端子またはUSB端子で接続

※ 1曲あたりの最大容量:約320キロバイト、ユーザー曲全体:16メガバイト(1キロバイト=1024バイト)

端子	
USBメモリー端子	タイプA
USB端子	タイプB
マイク端子	標準ジャック(ダイナミックマイクを接続) 入力インピーダンス: 3kΩ、入力感度: 10mV
ペダル端子	標準ジャック(サステイン、ソステヌート、ソフト、リズム)
ヘッドホン/アウトプット端子	ステレオ標準ジャック 出力インピーダンス: 167Ω、出力電圧: 4.5V (RMS) MAX
オーディオ入力端子	ステレオミニジャック 入力インピーダンス: 10kΩ、入力感度: 200mV
電源端子	DC9.5V
電源	2電源方式
電池	単3形アルカリ乾電池6本使用
電池持続時間	約3時間
家庭用AC100V電源	ACアダプターAD-E95100L使用
オートパワーオフ機能	約30分後、キャンセル可能
スピーカー	12cm×2(出力2.5W+2.5W)
消費電力	9.5V --- 7.5W
サイズ幅	幅94.8×奥行35.0×高さ10.9cm
質量	約4.5kg(乾電池含まず)

- 改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更することがあります。

ソングリスト

ソングバンク

No.	曲名	楽譜集	歌詞集
ポップス			
001	Lemon	—	—
002	マリーゴールド	Song Book	Lyric Book
003	パプリカ	—	—
004	3 6 6 日	Song Book	Lyric Book
005	G U T S !	—	—
006	トリセツ	—	—
007	恋	Song Book	Lyric Book
008	奏(かなで)	Song Book	Lyric Book
009	ハナミズキ	Song Book	Lyric Book
010	世界に一つだけの花	Song Book	Lyric Book
011	糸	—	—
012	海の声	Song Book	Lyric Book
013	エビカニクス	Song Book	Lyric Book
014	千本桜	Song Book	Lyric Book
015	Baby, God Bless You	—	—
016	愛をこめて花束を	Song Book	Lyric Book
017	ひまわりの約束	Song Book	Lyric Book
018	ありがとう	Song Book	Lyric Book
019	見上げてごらん夜の星を	Song Book	Lyric Book
020	旅立ちの日に	Song Book	Lyric Book
アニメ/スクリーン/テーマ			
021	残酷な天使のテーゼ	Song Book	Lyric Book
022	トモダチのわお！ 「しまじろうのわお！」より	Song Book	Lyric Book
023	ようかい体操第一 「妖怪ウォッチ」より	Song Book	Lyric Book
024	ラジオ体操第一	Song Book	—
025	エトピリカ 「情熱大陸」より	Song Book	—
026	君をのせて 「天空の城ラピュタ」より	Song Book	Lyric Book
027	崖の上のポニョ	Song Book	Lyric Book
028	夢をかなえてドラえもん	Song Book	Lyric Book
029	アンパンマンのマーチ	Song Book	Lyric Book
030	さんぽ 「となりのトトロ」より	Song Book	Lyric Book
031	星に願いを	—	—
日本の歌			
032	ふるさと	Song Book 2	Lyric Book
033	さくら さくら	Song Book 2	Lyric Book
034	春がきた	Song Book 2	Lyric Book
035	春の小川	Song Book 2	Lyric Book
036	おぼろ月夜	Song Book 2	Lyric Book
037	早春賦	Song Book 2	Lyric Book
038	花	Song Book 2	Lyric Book
039	バラが咲いた	Song Book 2	Lyric Book
040	こいのぼり	Song Book 2	Lyric Book
041	茶つみ	Song Book 2	Lyric Book
042	みかんの花咲く丘	Song Book 2	Lyric Book
043	かたつむり	Song Book 2	Lyric Book
044	夏の思い出	Song Book 2	Lyric Book
045	もみじ	Song Book 2	Lyric Book
046	荒城の月	Song Book 2	Lyric Book
047	冬景色	Song Book 2	Lyric Book
048	浜辺の歌	Song Book 2	Lyric Book
049	宵待草	Song Book 2	Lyric Book
050	ふじ山	Song Book 2	Lyric Book
051	四季の歌	Song Book 2	Lyric Book
052	げんこつ山のためきさん	Song Book 2	Lyric Book
世界の曲			
053	きらきら星	Song Book 2	Lyric Book
054	ちょうちょう	Song Book 2	Lyric Book
055	ロング・ロング・アゴー	Song Book 2	Lyric Book

No.	曲名	楽譜集	歌詞集
056	オン・トップ・オブ・オールド・スモーキー	Song Book 2	Lyric Book
057	聖者の行進	Song Book 2	Lyric Book
058	アメイジング・グレイス	Song Book 2	Lyric Book
059	ほたるの光	Song Book 2	Lyric Book
060	ぶんぶんぶん	Song Book 2	Lyric Book
061	かわいいオーガスチン	Song Book 2	Lyric Book
062	こげよマイケル	Song Book 2	Lyric Book
063	ダニー・ボーイ	Song Book 2	Lyric Book
064	マイ・ボニー	Song Book 2	Lyric Book
065	埴生の宿	Song Book 2	Lyric Book
066	オーラ・リー	Song Book 2	Lyric Book
067	峠の我が家	Song Book 2	Lyric Book
068	アロハ・オエ	Song Book 2	Lyric Book
069	サンタ・ルチア	Song Book 2	Lyric Book
070	グリーンズリブス	Song Book 2	Lyric Book
071	ジェリコの戦い	Song Book 2	Lyric Book
072	パン屋さん	Song Book 2	Lyric Book
073	ロンドン橋	Song Book 2	Lyric Book
074	大きな栗の木の下で	Song Book 2	Lyric Book
075	森のくまさん	Song Book 2	Lyric Book
076	大きな古時計	Song Book 2	Lyric Book
077	アニー・ローリー	Song Book 2	Lyric Book
078	夢路より	Song Book 2	Lyric Book
079	しあわせなら手をたたこう	Song Book 2	Lyric Book
080	愛しのクレメンタイン	Song Book 2	Lyric Book
081	茶色のこびん	Song Book 2	Lyric Book
082	朝日のあたる家	Song Book 2	Lyric Book
083	黄色いリボン	Song Book 2	Lyric Book
084	アルプス一万尺	Song Book 2	Lyric Book
085	ケンタッキーの我が家	Song Book 2	Lyric Book
086	森へ行きましょう	Song Book 2	—
087	トロイカ	Song Book 2	Lyric Book
088	ワルツィング・マチルダ	Song Book 2	Lyric Book
089	アビニョンの橋で	Song Book 2	Lyric Book
090	線路は続くよどこまでも	Song Book 2	Lyric Book
091	おお スザンナ	Song Book 2	Lyric Book
092	草競馬	Song Book 2	Lyric Book
093	金髪のジェニー	Song Book 2	Lyric Book
094	わらの中の七面鳥	Song Book 2	Lyric Book
095	さらばジャマイカ	Song Book 2	Lyric Book
イベント			
096	きよしこの夜	Song Book 2	Lyric Book
097	おめでとウクリスマス	Song Book 2	Lyric Book
098	ジングル・ベル	Song Book 2	Lyric Book
099	もろびとこぞりて	Song Book 2	Lyric Book
100	もみの木	Song Book 2	Lyric Book
ピアノ/クラシック			
101	メリーさんのひつじ	Song Book 2	—
102	白鳥 「動物の謝肉祭」より	Song Book 2	—
103	ジュ・トゥ・ヴ	Song Book 2	—
104	ソナタ 作品13 「悲愴」 第2楽章	Song Book 2	—
105	野ばら	Song Book 2	—
106	G線上のアリア	Song Book 2	—
107	春 「四季」より	Song Book 2	—
108	ハバネラ 歌劇「カルメン」より	Song Book 2	—
109	乾杯の歌 歌劇「椿姫」より	Song Book 2	—
110	ハンガリー舞曲 第5番	Song Book 2	—
111	ト長調のメヌエット	Song Book 2	—
112	ニ長調のミュゼット	Song Book 2	—
113	ガボット(ゴセック)	Song Book 2	—

No.	曲名	楽譜集	歌詞集
114	アラベスク(ブルクミュラー)	Song Book 2	—
115	チョップスティックス	Song Book 2	—
116	ひいらぎかざろう	Song Book 2	—
117	喜びの歌	Song Book 2	—
118	アヴェ・マリア(グノー)	Song Book 2	—
119	ソナチネ 作品36の1 第1楽章	Song Book 2	—
120	プレリュード 作品28の7 (ショパン)	Song Book 2	—
121	夢	Song Book 2	—
122	ジムノペディ 第1番	Song Book 2	—
123	家路 「新世界から」より	Song Book 2	—
124	エリーゼのために	Song Book 2	—
125	トルコ行進曲(モーツァルト)	Song Book 2	—
126	ソナタ 作品27の2 「月光」 第1楽章	Song Book 2	—
127	別れの曲	Song Book 2	—
128	エンターテイナー	Song Book 2	—
129	結婚行進曲 「真夏の夜の夢」より	Song Book 2	—
130	アメリカン・パトロール	Song Book 2	—
131	楽しき農夫	Song Book 2	—
132	貴婦人の乗馬	Song Book 2	—
133	ソナタ K.545 第1楽章	Song Book 2	—
134	乙女の祈り	Song Book 2	—
135	小犬のワルツ	Song Book 2	—
136	愛の夢 第3番	Song Book 2	—
137	主よ、人の望みの喜びよ	Song Book 2	—
138	カノン(バッハ)	Song Book 2	—
139	セレナード 「アイネ・クライネ・ ナハトムジーク」より	Song Book 2	—
140	行進曲 「くるみ割り人形」より	Song Book 2	—
141	闘牛士の歌 組曲「カルメン」より	Song Book 2	—
142	ラルゴ(ヘンデル)	Song Book 2	—
143	無邪気	Song Book 2	—
144	フロムナード 「展覧会の絵」より	Song Book 2	—
145	インヴェンション 第1番	Song Book 2	—
146	プレリュード 第1番(J.S.バッハ)	Song Book 2	—
147	人形の夢と目覚め	Song Book 2	—
148	亜麻色の髪の乙女	Song Book 2	—
149	トロイメライ	Song Book 2	—
150	ノクターン 作品9の2(ショパン)	Song Book 2	—
脳にキク			
151 ↳ 200	脳にキク 1～50	—	—
ユーザーソング			
201 ↳ 400	ユーザーソング 1～200	—	—
ユーザー録音			
401 ↳ 406	ユーザー録音 1～6	—	—
USBソング			
407 ↳	USBソング 1～	—	—

ドラム音色リスト

音名		ノート ナンバー	ドラムセット名							
			570: スタンダードセット 1	571: スタンダードセット 2	572: スタンダードセット 3	573: スタンダードセット 4	574: スタンダードセット 5	575: ダンスセット 1	576: ダンスセット 2	577: ダンスセット 3
C-1		0	Tabla Ge					Dance1 Kick 1		
	C-1	1	Tabla Ka					Dance1 Kick 2		
D-1		2	Tabla Te					Dance1 Kick 3		
	D-1	3	Tabla Na					Dance1 Kick 4		
E-1		4	Tabla Tun					Dance1 Kick 5		
F-1		5	Dholak Ge					Dance1 Snare 1		
	F-1	6	Dholak Ka					Dance1 Snare 2		
G-1		7	Dholak Ta 1					Dance1 Snare 3		
	G-1	8	Dholak Ta 2					Dance1 Snare 4		
A-1		9	Dholak Na					Dance1 Snare 5		
	A-1	10	Dholak Ta 3					Dance1 Snare 6		
B-1		11	Dholak Ring					Dance1 Snare 7		
C0		12	Mridangam Tha					Dance1 Snare 8		
	C0	13	Mridangam Dhrom					Dance1 Snare 9		
D0		14	Mridangam Dhi					Dance1 Tambourine		
	D0	15	Mridangam Dhin					Hip-Hop Snare 4		
E0		16	Mridangam Num					Hip-Hop Snare 3		
F0		17						Techno Snare		
	F0	18						Hip-Hop Rim Shot		
G0		19						Hip-Hop Snare 3 Rev.		
	G0	20						DM2 Kick 1 Rev.		
A0		21						Reverse Cymbal Gate		
	A0	22						Hip-Hop Snare 4 Gate		
B0		23						Hip-Hop Snare 3 Gate		
	B0	24						Techno Snare Gate		
C1		25						Hip-Hop Side Stick Gate		
	C1	26						Hand Clap 2 Gate		
D1		27	High Q	←	←	←	←	←	←	←
	D1	28	Slap	←	←	←	←	←	←	←
E1		29	Scratch Push	←	←	←	←	←	←	←
	E1	30	Scratch Pull	←	←	←	←	←	←	←
F1		31	Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks
	F1	32	Square Click	←	←	←	←	←	←	←
G1		33	Metronome Click	←	←	←	←	←	←	←
	G1	34	Metronome Bell	←	←	←	←	←	←	←
A1		35	Standard1 Kick 2	Standard2 Kick 2	Standard3 Kick 2	Standard4 Kick 2	Standard5 Kick 2	DM2 Kick 2	Hip-Hop Kick 3	Dance1 Kick 2
	A1	36	Standard1 Kick 1	Standard2 Kick 1	Standard3 Kick 1	Standard4 Kick 1	Standard5 Kick 1	DM2 Kick 1	Dance1 Kick 5	Dance1 Kick 4
B1		37	Standard1 Side Stick	Standard2 Side Stick	Standard3 Side Stick	Standard4 Side Stick	Standard5 Side Stick	DM2 Low Tom 2	Hand Clap 3	Hip-Hop Side Stick Gate
	B1	38	Standard1 Snare 1	Standard2 Snare 1	Standard3 Snare 1	Standard4 Snare 1	Standard5 Snare 1	DM2 Snare 1	Dance1 Snare 7	Dance1 Snare 2
C2		39	Hand Clap	←	←	←	←	←	Hand Clap 2	DM1 Hand Clap
	C2	40	Standard1 Snare 2	Standard2 Snare 2	Standard3 Snare 2	Standard4 Snare 2	Standard5 Snare 2	DM2 Snare 2	Techno Snare	Dance1 Snare 1 Gate
D2		41	Standard1 Low Tom 2	Standard2 Low Tom 2	Standard3 Low Tom 2	Standard4 Low Tom 2	Standard5 Low Tom 2	DM2 Low Tom 2	DM2 Low Tom 2	Standard5 Low Tom 2
	D2	42	Standard1 Closed Hi-Hat	Standard2 Closed Hi-Hat	Standard3 Closed Hi-Hat	Standard4 Closed Hi-Hat	Standard5 Closed Hi-Hat	DM2 Closed Hi-Hat 1	Trance Closed Hi-Hat	Standard5 Closed Hi-Hat
E2		43	Standard1 Low Tom 1	Standard2 Low Tom 1	Standard3 Low Tom 1	Standard4 Low Tom 1	Standard5 Low Tom 1	DM2 Low Tom 1	DM2 Low Tom 1	Standard5 Low Tom 1
	E2	44	Standard1 Pedal Hi-Hat	Standard2 Pedal Hi-Hat	Standard3 Pedal Hi-Hat	Standard4 Pedal Hi-Hat	Standard5 Pedal Hi-Hat	DM2 Closed Hi-Hat 2	Trance Open Hi-Hat 1	Standard5 Pedal Hi-Hat
F2		45	Standard1 Mid Tom 2	Standard2 Mid Tom 2	Standard3 Mid Tom 2	Standard4 Mid Tom 2	Standard5 Mid Tom 2	DM2 Mid Tom 2	DM2 Mid Tom 2	Standard5 Mid Tom 2
	F2	46	Standard1 Open Hi-Hat	Standard2 Open Hi-Hat	Standard3 Open Hi-Hat	Standard4 Open Hi-Hat	Standard5 Open Hi-Hat	DM2 Open Hi-Hat	Trance Open Hi-Hat 2	Standard5 Open Hi-Hat
G2		47	Standard1 Mid Tom 1	Standard2 Mid Tom 1	Standard3 Mid Tom 1	Standard4 Mid Tom 1	Standard5 Mid Tom 1	DM2 Mid Tom 1	DM2 Mid Tom 1	Standard5 Mid Tom 1
	G2	48	Standard1 High Tom 2	Standard2 High Tom 2	Standard3 High Tom 2	Standard4 High Tom 2	Standard5 High Tom 2	DM2 High Tom 2	DM2 High Tom 2	Standard5 High Tom 2
A2		49	Standard1 Crash Cymbal 1	Standard2 Crash Cymbal 1	Standard3 Crash Cymbal 1	Standard4 Crash Cymbal 1	Standard5 Crash Cymbal 1	DM2 Crash Cymbal 1	Standard5 Crash Cymbal 1	Standard5 Crash Cymbal 1
	A2	50	Standard1 High Tom 1	Standard2 High Tom 1	Standard3 High Tom 1	Standard4 High Tom 1	Standard5 High Tom 1	DM2 High Tom 1	DM2 High Tom 1	Standard5 High Tom 1
B2		51	Standard1 Ride Cymbal 1	Standard2 Ride Cymbal 1	Standard3 Ride Cymbal 1	Standard4 Ride Cymbal 1	Standard5 Ride Cymbal 1	Standard3 Ride Cymbal 1	Standard3 Ride Cymbal 1	Standard3 Ride Cymbal 1
	B2	52	Standard1 Chinese Cymbal	Standard2 Chinese Cymbal	Standard3 China Cymbal	Standard4 China Cymbal	Standard5 China Cymbal	Standard3 China Cymbal	Standard3 China Cymbal	Standard3 China Cymbal
C3		53	Standard1 Ride Bell	Standard2 Ride Bell	Standard3 Ride Bell	Standard4 Ride Bell	Standard5 Ride Bell	Standard3 Ride Bell	Standard3 Ride Bell	Standard3 Ride Bell
	C3	54	Tambourine	←	←	←	←	←	←	←
D3		55	Standard1 Splash Cymbal	Standard2 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal	Standard4 Splash Cymbal	Standard5 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal
	D3	56	Cowbell	←	←	←	←	←	←	←
E3		57	Standard1 Crash Cymbal 2	Standard2 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2	Standard4 Crash Cymbal 2	Standard5 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2
	E3	58	Vibraslap	←	←	←	←	←	←	←
F3		59	Standard1 Ride Cymbal 2	Standard2 Ride Cymbal 2	Standard3 Ride Cymbal 2	Standard4 Ride Cymbal 2	Standard5 Ride Cymbal 2	DM1 Kick 2	Standard3 Ride Cymbal 2	Standard3 Ride Cymbal 2
	F3	60	High Bongo	←	←	←	←	DM1 Kick 1	←	←
G3		61	Low Bongo	←	←	←	←	DM1 Rim Shot	←	←
A3		62	Mute High Conga	←	←	←	←	DM1 Snare 1	←	←
	A3	63	Open High Conga	←	←	←	←	DM1 Hand Clap	←	←
B3		64	Open Low Conga	←	←	←	←	DM1 Snare 2	←	←
	B3	65	High Timbale	←	←	←	←	DM1 Low Tom 2	←	←
C4		66	Low Timbale	←	←	←	←	DM1 Closed Hi-Hat 1	←	←
D4		67	High Agogo	←	←	←	←	DM1 Low Tom 1	←	←
	D4	68	Low Agogo	←	←	←	←	DM1 Closed Hi-Hat 2	←	←
E4		69	Cabasa	←	←	←	←	DM1 Mid Tom 2	Cabasa 2	Cabasa 2
	E4	70	Maracas	←	←	←	←	DM1 Open Hi-Hat	Maracas 2	Maracas 2
F4		71	High Whistle	High Whistle 2	High Whistle 2	High Whistle 2	High Whistle 2	DM1 Mid Tom 1	High Whistle 2	High Whistle 2
	F4	72	Low Whistle	Low Whistle 2	Low Whistle 2	Low Whistle 2	Low Whistle 2	DM1 High Tom 2	Low Whistle 2	Low Whistle 2
G4		73	Short Guiro	←	←	←	←	DM1 Crash Cymbal	←	←
	G4	74	Long Guiro	←	←	←	←	DM1 High Tom 1	←	←
A4		75	Claves	←	←	←	←	DM1 Ride Cymbal	←	←
	A4	76	High Wood Block	←	←	←	←	Standard3 China Cymbal	←	←
B4		77	Low Wood Block	←	←	←	←	Standard3 Ride Bell	←	←
	B4	78	Mute Cuica	←	←	←	←	DM1 Tambourine	←	←
C5		79	Open Cuica	←	←	←	←	Standard3 Splash Cymbal	←	←
	C5	80	Mute Triangle	←	←	←	←	DM1 Cowbell	Mute Triangle 2	Mute Triangle 2
D5		81	Open Triangle	←	←	←	←	Standard3 Crash Cymbal 2	Open Triangle 2	Open Triangle 2
	D5	82	Shaker	←	←	←	←	Vibraslap	Shaker 2	Shaker 2
E5		83	Jingle Bell	←	←	←	←	DM1 Kick 3	←	←
	E5	84	Bell Tree	←	←	←	←	Hip-Hop Kick 3	←	←
F5		85	Castanets	←	←	←	←	Standard4 Kick 1	←	←
G5		86	Mute Surdo	←	←	←	←	Standard4 Snare 1	←	←
	G5	87	Open Surdo	←	←	←	←	Hand Clap 3	←	←
A5		88	Applause 1	←	←	←	←	Standard4 Snare 2	←	←
	A5	89	Applause 2	←	←	←	←	Elec Low Tom 2	←	←
B5		90						Hip-Hop Closed Hi-Hat	←	←
	B5	91						Elec Low Tom 1	←	←
C6		92						Hip-Hop Pedal Hi-Hat	←	←
	C6	93						Elec Mid Tom 2	←	←
D6		94						Hip-Hop Open Hi-Hat	←	←
	D6	95						Elec Mid Tom 1	←	←
E6		96						Elec High Tom 2	←	←
F6		97	Jingle Bell 2	←	←	←	←	Techno Cymbal	←	←
	F6	98	Open Surdo 2	←	←	←	←	Elec High Tom 1	←	←
G6		99	Cabasa 2	←	←	←	←	Techno Ride	←	←
	G6	100	Maracas 2	←	←	←	←	Standard3 Low Tom 2	←	←
A6		101	Shaker 2	←	←	←	←	Room Closed Hi-Hat	←	←
	A6	102	Mute Triangle 2	←	←	←	←	Standard3 Low Tom 1	←	←
B6		103	Open Triangle 2	←	←	←	←	Room Pedal Hi-Hat	←	←
	B6	104	High Agogo 2	←	←	←	←	Standard3 Mid Tom 2	←	←
C7		105	Low Agogo 2	←	←	←	←	Room Open Hi-Hat	←	←
	C7	106		←	←	←	←	Standard3 Mid Tom 1	←	←
D7		107		←	←	←	←	Standard3 High Tom 2	←	←
	D7	108		←	←	←	←	Standard3 Crash Cymbal 1	←	←
E7		109	Tabla 1	←	←	←	←	Standard3 High Tom 1	←	←
	E7	110	Tabla 2	←	←	←	←	Standard3 Ride Cymbal 1	←	←
F7		111	Tabla 3	←	←	←	←			
	F7	112	Daf 1	←	←	←	←			
G7		113	Daf 2	←	←	←	←			
	G7	114	Riq 1	←	←	←	←			
A7		115	Riq 2	←	←	←	←			
	A7	116	Riq 3	←	←	←	←			
B7		117	Davul 1	←	←	←	←			
	B7	118	Davul 2	←	←	←	←			
C8		119	Zill 1	←	←	←	←			
	C8	120	Zill 2	←	←	←	←			
D8		121	Ban Gu	←	←	←	←			
	D8	122	Hu Yin Luo	←	←	←	←			
E8		123	Xiao Luo	←	←	←	←			
	E8	124	Xiao Bo	←	←	←	←			
F8		125	Low Tang Gu	←	←	←	←			
	F8	126	Mid Tang Gu	←	←	←	←			
G8		127	High Tang Gu	←	←	←	←			

※“←”の鍵盤は、スタンダードセット 1 と同じ音です。

音名	ノート ナンバー	ドラムセット名							
		578 : ダンスセット 4	579 : ダンスセット 5	580 : ダンスセット 6	581 : トランスセット	582 : ヒップホップセット	583 : ルームセット	584 : パワーセット	585 : ロックセット
C-1	0	Dance1 Kick 1							
D-1	1	Dance1 Kick 2							
E-1	2	Dance1 Kick 3							
F-1	3	Dance1 Kick 4							
G-1	4	Dance1 Kick 5							
A-1	5	Dance1 Snare 1							
B-1	6	Dance1 Snare 2							
C-1	7	Dance1 Snare 3							
D-1	8	Dance1 Snare 4							
E-1	9	Dance1 Snare 5							
F-1	10	Dance1 Snare 6							
G-1	11	Dance1 Snare 7							
A-1	12	Dance1 Snare 8							
B-1	13	Dance1 Snare 9							
C-1	14	Dance1 Tambourine							
D-1	15	Hip-Hop Snare 4							
E-1	16	Hip-Hop Snare 3							
F-1	17	Techno Snare							
G-1	18	Hip-Hop Rim Shot							
A-1	19	Hip-Hop Snare 3 Rev.							
B-1	20	DM2 Kick 1 Rev.		Dance6 Rev.Snare					
C-1	21	Reverse Cymbal Gate		Dance6 Open Hi-Hat 1					
D-1	22	Dance4 Snare Rev.		Dance6 Kick 2					
E-1	23	Dance4 Open Hi-Hat Rev.		Dance6 SE Noise					
F-1	24	Techno Snare Gate	Dance5 Kick 2	Dance6 Noise Down					
G-1	25	Hip-Hop Side Stick Gate		Dance6 GateSnare					
A-1	26	Hand Clap 2 Gate		Dance6 SE Exp.					
B-1	27	←		Dance6 Open Hi-Hat 2					
C-1	28	←		←	←	←	←	←	←
D-1	29	Dance4 Scratch Push		Dance6 GateSnare		←	←	←	←
E-1	30	Dance4 Scratch Pull		←	←	←	←	←	←
F-1	31	Standard2 Sticks		Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks
G-1	32	←		←	←	←	←	←	←
A-1	33	←		←	←	←	←	←	←
B-1	34	←	Dance5 Kick 1	←	←	←	←	←	←
C-1	35	Dance4 Kick 2	Dance5 Kick 2	Dance6 Kick 1	Trance Kick 2	Hip-Hop Kick 2	Room Kick 2	Power Kick 2	Rock Kick 2
D-1	36	Dance4 Kick 1	Dance5 Kick 3	Dance6 Kick 2	Trance Kick 1	Hip-Hop Kick 1	Room Kick 1	Power Kick 1	Rock Kick 1
E-1	37	Dance4 Hand Clap 1	Dance5 Snare 1	Dance6 Snare 1	Trance Side Stick	Hip-Hop Side Stick	Standard2 Side Stick	Standard2 Side Stick	Standard2 Side Stick
F-1	38	Dance4 Snare 1	Dance5 Snare 2	Dance6 Snare 2	Trance Snare 1	Hip-Hop Snare 1	Room Snare 1	Power Snare 1	Rock Snare 1
G-1	39	Dance4 Hand Clap 2	Dance5 Clap	Dance6 Rev.Snare 1	Trance Hand Clap	Hip-Hop Hand Clap	←	←	←
A-1	40	Dance4 Snare 2	Dance5 Snare 3		Trance Snare 2	Hip-Hop Snare 2	Room Snare 2	Power Snare 2	Rock Snare 2
B-1	41	Dance4 Low Tom 2	Dance5 Closed Hi-Hat		Standard3 Low Tom 2	Standard3 Low Tom 2	Room Low Tom 2	Room Low Tom 2	Room Low Tom 2
C-1	42	Dance4 Closed Hi-Hat 1	Dance5 Closed Hi-Hat	Dance6 Closed Hi-Hat 1	Trance Closed Hi-Hat	Hip-Hop Closed Hi-Hat	Room Closed Hi-Hat	Room Closed Hi-Hat	Room Closed Hi-Hat
D-1	43	Dance4 Low Tom 1	DM1 Low Tom 1		Standard3 Low Tom 1	Standard3 Low Tom 1	Room Low Tom 1	Room Low Tom 1	Room Low Tom 1
E-1	44	Dance4 Closed Hi-Hat 2	Dance5 Open Hi-Hat 1		Trance Open Hi-Hat 1	Hip-Hop Pedal Hi-Hat	Room Pedal Hi-Hat	Room Pedal Hi-Hat	Room Pedal Hi-Hat
F-1	45	Dance4 Mid Tom 2	DM1 Crash Cymbal		Standard3 Mid Tom 2	Standard3 Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Room Mid Tom 2
G-1	46	Dance4 Open Hi-Hat 1	Dance5 Open Hi-Hat 2	Dance6 Open Hi-Hat 1	Trance Open Hi-Hat 2	Hip-Hop Open Hi-Hat	Room Open Hi-Hat	Room Open Hi-Hat	Room Open Hi-Hat
A-1	47	Dance4 Mid Tom 1	DM1 Mid Tom 1		Standard3 Mid Tom 1	Standard3 Mid Tom 1	Room Mid Tom 1	Room Mid Tom 1	Room Mid Tom 1
B-1	48	Dance4 High Tom 2	DM1 High Tom 2		Standard3 High Tom 2	Standard3 High Tom 2	Room High Tom 2	Room High Tom 2	Room High Tom 2
C-1	49	Standard3 Crash Cymbal 1	Standard3 Crash Cymbal 1	Dance6 Crash 2	Standard3 Crash Cymbal 1	Standard3 Crash Cymbal 1	Standard5 Crash Cymbal 1	Standard5 Crash Cymbal 1	Standard5 Crash Cymbal 1
D-1	50	Dance4 High Tom 1	DM1 High Tom 1		Standard3 High Tom 1	Standard3 High Tom 1	Room High Tom 1	Room High Tom 1	Room High Tom 1
E-1	51	Standard3 Ride Cymbal 1	DM1 Ride Cymbal		Standard3 Ride Cymbal 1	Standard3 Ride Cymbal 1	Standard3 Ride Cymbal 1	Standard3 Ride Cymbal 1	Standard3 Ride Cymbal 1
F-1	52	Standard3 Chinese Cymbal	Standard3 Chinese Cymbal		Standard3 China Cymbal	Standard3 China Cymbal	Standard3 China Cymbal	Standard3 China Cymbal	Standard3 China Cymbal
G-1	53	Standard3 Ride Bell	Standard3 Ride Bell		Standard3 Ride Bell	Standard3 Ride Bell	Standard3 Ride Bell	Standard3 Ride Bell	Standard3 Ride Bell
A-1	54	←	DM1 Tambourine	Dance6 Filter Hi-Hat L	Trance Tambourine	←	←	←	←
B-1	55	Standard3 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal	Dance6 Filter Hi-Hat R	Standard3 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal
C-1	56	←	DM1 Cowbell	←	←	←	←	←	←
D-1	57	Standard3 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2		Standard3 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2
E-1	58	←	←		←	←	←	←	←
F-1	59	Dance4 Kick 4	Standard3 Ride Cymbal 2		Standard3 Ride Cymbal 2	Standard3 Ride Cymbal 2	Standard3 Ride Cymbal 2	Standard3 Ride Cymbal 2	Standard3 Ride Cymbal 2
G-1	60	Dance4 Kick 3	Dance5 SFX Sound 1	Wobble 1	←	←	←	←	←
A-1	61	Dance4 Hand Clap 3	Dance5 SFX Sound 2	Wobble 2	←	←	←	←	←
B-1	62	Dance4 Hand Clap 4	Dance5 SFX Sound 3	Wobble 3	←	←	←	←	←
C-1	63	Dance4 Hand Clap 5	Dance5 SFX Sound 4	Wobble 4	←	←	←	←	←
D-1	64	Dance4 Snare 3	Dance5 SFX Sound 5		←	←	←	←	←
E-1	65	DM1 Low Tom 2	Dance5 SFX Sound 6		←	←	←	←	←
F-1	66	Dance4 Closed Hi-Hat 3	Dance5 SFX Sound 7	Dance6 Closed Hi-Hat 2	←	←	←	←	←
G-1	67	DM1 Low Tom 1	Dance5 SFX Sound 8		←	←	←	←	←
A-1	68	Dance4 Closed Hi-Hat 4	Dance5 SFX Sound 9	Dance6 Closed Hi-Hat 3	←	←	←	←	←
B-1	69	DM1 Mid Tom 2	Dance5 SFX Sound 10		←	←	←	←	←
C-1	70	Dance4 Open Hi-Hat 2	Dance5 SFX Sound 11	Dance6 Open Hi-Hat 3	Cabasa 2	←	←	←	←
D-1	71	DM1 Mid Tom 1	Dance5 SFX Sound 12		Maracas 2	←	←	←	←
E-1	72	DM1 High Tom 2	Dance5 SFX Sound 13	Dance6 SE Snare	High Whistle 2	High Whistle 2	High Whistle 2	High Whistle 2	High Whistle 2
F-1	73	DM1 Crash Cymbal	Dance5 SFX Sound 14	Dance6 SE Noise	Low Whistle 2	Low Whistle 2	Low Whistle 2	Low Whistle 2	Low Whistle 2
G-1	74	DM1 High Tom 1	Dance5 SFX Sound 15	Dance6 SE Rev.Snare	←	←	←	←	←
A-1	75	DM1 Ride Cymbal	Dance5 SFX Sound 16	Dance6 Noise Down	←	←	←	←	←
B-1	76	Standard3 Chinese Cymbal	Dance5 SFX Sound 17	Dance6 GateSnare	←	←	←	←	←
C-1	77	Standard3 Ride Bell	Dance5 SFX Sound 18	Dance6 Rev.Snare	←	←	←	←	←
D-1	78	DM1 Tambourine	Dance5 SFX Sound 19		←	←	←	←	←
E-1	79	Standard3 Splash Cymbal	Dance5 SFX Sound 20	Dance6 SE Exp.	←	←	←	←	←
F-1	80	DM1 Cowbell	Dance5 SFX Sound 21		←	←	←	←	←
G-1	81	Standard3 Crash Cymbal 2	Dance5 SFX Sound 22	Dance6 SE Rev.Snare 2	Open Triangle 2	←	←	←	←
A-1	82	Vibraslap	Dance5 SFX Sound 23		Shaker 2	←	←	←	←
B-1	83	DM1 Kick 3	Dance5 SFX Sound 24		←	←	←	←	←
C-1	84	Dance4 Kick 5	Dance5 SFX Sound 25	Dance6 Kick 3	←	←	←	←	←
D-1	85	Dance6 Kick 1	Dance5 SFX Voice 1		←	←	←	←	←
E-1	86	Dance6 Snare 1	Dance5 SFX Voice 2	Dance6 Snare 3	←	←	←	←	←
F-1	87	Dance6 Hand Clap 6	Dance5 SFX Voice 3	Dance6 Clap	←	←	←	←	←
G-1	88	Dance6 Snare 2	Dance5 SFX Voice 4		←	←	←	←	←
A-1	89	Elec.Low Tom 2	Dance5 SFX Voice 5		←	←	←	←	←
B-1	90	Dance4 Closed Hi-Hat 5	Dance5 SFX Voice 6	Dance6 Closed Hi-Hat 4	←	←	←	←	←
C-1	91	Elec.Low Tom 1	Dance5 SFX Voice 7		←	←	←	←	←
D-1	92	Dance4 Closed Hi-Hat 6	Dance5 SFX Voice 8		←	←	←	←	←
E-1	93	Elec.Mid Tom 2	VL Snare		←	←	←	←	←
F-1	94	Dance4 Open Hi-Hat 3	VL Pong	Dance6 Noise Hi-Hat	←	←	←	←	←
G-1	95	Elec.Mid Tom 1	VL Ping		←	←	←	←	←
A-1	96	Elec.High Tom 2			←	←	←	←	←
B-1	97	Techno Cymbal			←	←	←	←	←
C-1	98	Elec.High Tom 1			←	←	←	←	←
D-1	99	Techno Ride			←	←	←	←	←
E-1	100	←			←	←	←	←	←
F-1	101	Standard3 Low Tom 2			←	←	←	←	←
G-1	102	Room Closed Hi-Hat			←	←	←	←	←
A-1	103	Standard3 Low Tom 1			←	←	←	←	←
B-1	104	Room Pedal Hi-Hat			←	←	←	←	←
C-1	105	Standard3 Mid Tom 2			←	←	←	←	←
D-1	106	Room Open Hi-Hat			←	←	←	←	←
E-1	107	Standard3 Mid Tom 1			←	←	←	←	←
F-1	108	Standard3 High Tom 2			←	←	←	←	←
G-1	109	Standard3 Crash Cymbal 1			←	←	←	←	←
A-1	110	Standard3 High Tom 1			←	←	←	←	←
B-1	111	Standard3 Ride Cymbal 1			←	←	←	←	←
C-1	112	←			←	←	←	←	←
D-1	113	Tambourine 2			←	←	←	←	←
E-1	114	Tambourine 3			←	←	←	←	←
F-1	115	Cabasa 2			←	←	←	←	←
G-1	116	Maracas 2			←	←	←	←	←
A-1	117	Claves 2			←	←	←	←	←
B-1	118	Mute Triangle 2			←	←	←	←	←
C-1	119	Open Triangle 2			←	←	←	←	←
D-1	120	Shaker 2			←	←	←	←	←
E-1	121	Hand Clap			←	←	←	←	←
F-1	122	Hand Clap 2			←	←	←	←	←
G-1	123	←			←	←	←	←	←
A-1	124	←			←	←	←	←	←
B-1	125	←			←	←	←	←	←
C-1	126	←			←	←	←	←	←
D-1	127	←			←	←	←	←	←

※“←”の鍵盤は、スタンダードセット1と同じ音です。

音名	ノート ナンバー	ドラムセット名							
		586: エレクトロニックセット	587: ドラムマシンセット 1	588: ドラムマシンセット 2	589: ドラムマシンセット 3	590: ジャズセット	591: ブラッシュセット	592: オーケストラセット	593: ラテンセット 1
C-1	0								Timbal Slap
D-1	1								Timbal Open
E-1	2								Timbal Bass
F-1	3								Timbal Muff
G-1	4								Surdo Body
A-1	5								Surdo Close
B-1	6								Surdo Hand 1
C0	7								Surdo Hand 2
D0	8								Surdo Hand 3
E0	9								Surdo Hand Off
F0	10								Surdo Open 1
G0	11								Surdo Open 2
A0	12								Surdo Rim
B0	13								
C1	14								
D1	15								
E1	16								
F1	17								
G1	18								
A1	19								
B1	20								
C2	21								
D2	22								
E2	23								
F2	24								
G2	25								
A2	26								
B2	27								
C3	28								
D3	29								
E3	30								
F3	31								
G3	32								
A3	33								
B3	34								
C4	35								
D4	36								
E4	37								
F4	38								
G4	39								
A4	40								
B4	41								
C5	42								
D5	43								
E5	44								
F5	45								
G5	46								
A5	47								
B5	48								
C6	49								
D6	50								
E6	51								
F6	52								
G6	53								
A6	54								
B6	55								
C7	56								
D7	57								
E7	58								
F7	59								
G7	60								
A7	61								
B7	62								
C8	63								
D8	64								
E8	65								
F8	66								
G8	67								
A8	68								
B8	69								
C9	70								
D9	71								
E9	72								
F9	73								
G9	74								
A9	75								
B9	76								
C10	77								
D10	78								
E10	79								
F10	80								
G10	81								
A10	82								
B10	83								
C11	84								
D11	85								
E11	86								
F11	87								
G11	88								
A11	89								
B11	90								
C12	91								
D12	92								
E12	93								
F12	94								
G12	95								
A12	96								
B12	97								
C13	98								
D13	99								
E13	100								
F13	101								
G13	102								
A13	103								
B13	104								
C14	105								
D14	106								
E14	107								
F14	108								
G14	109								
A14	110								
B14	111								
C15	112								
D15	113								
E15	114								
F15	115								
G15	116								
A15	117								
B15	118								
C16	119								
D16	120								
E16	121								
F16	122								
G16	123								
A16	124								
B16	125								
C17	126								
D17	127								

※“◀”の鍵盤は、スタンダードセット 1 と同じ音です。

音名	ノート ナンバー	ドラムセット名					
		594 : ラテンセット 2	595 : インドネシアセット	596 : インドセット	597 : アラビックセット	598 : チャイニーズセット	599 : SFXセット 1
C-1	0		←	Morsing B 1			
D-1	1		←	Morsing B 2			
E-1	2		←	Morsing B 3			
F-1	3		←	Morsing B 4			
G-1	4		←	Morsing B 5			
A-1	5		←	Morsing E 1			
B-1	6		←	Morsing E 2			
C0	7		←	Morsing E 3			
D0	8		←	Morsing E 4			
E0	9		←	Morsing E 5			
F0	10		←	Morsing G 1			
G0	11		←	Morsing G 2			
A0	12		←	Morsing G 3			
B0	13		←	Morsing G 4			
C1	14		←	Morsing G 5			
D1	15		←	Gatham Dom			
E1	16		←	Gatham Ta			
F1	17		←	Gatham Dim			
G1	18		←	Gatham Nam			
A1	19		←	Thavil Nam			
B1	20		←	Thavil Ki			
C2	21		←	Thavil Kun			
D2	22		←	Thavil Kirara			
E2	23		←	Kanjira Ta			
F2	24		←	Kanjira Di			
G2	25		←	Kanjira Don			
A2	26		←	Kanjira Don BendShort	←		
B2	27		←		←		
C3	28		←		←		
D3	29		←		←		
E3	30		←		←		
F3	31	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	
G3	32	←	←	←	←	←	
A3	33	←	←	←	←	←	
B3	34	←	←	←	←	←	
C4	35		Standard3 Kick 2	Standard3 Kick 2	Standard3 Kick 2	Standard3 Kick 2	
D4	36		Standard3 Kick 1	Standard3 Kick 1	Standard3 Kick 1	Standard3 Kick 1	Rain
E4	37		Standard2 Side Stick	Standard2 Side Stick	Standard2 Side Stick	Standard2 Side Stick	Seashore
F4	38		Standard3 Snare 1	Standard3 Snare 1	Standard3 Snare 1	Standard3 Snare 1	Thunder
G4	39		←	←	←	←	Wind
A4	40		Standard3 Snare 2	Standard3 Snare 2	Standard3 Snare 2	Standard3 Snare 2	Bubble
B4	41		Standard3 Low Tom 2	Standard3 Low Tom 2	Standard3 Low Tom 2	Standard3 Low Tom 2	Bird
C5	42		Room Closed Hi-Hat	Room Closed Hi-Hat	Room Closed Hi-Hat	Room Closed Hi-Hat	Cat
D5	43		Standard3 Low Tom 1	Standard3 Low Tom 1	Standard3 Low Tom 1	Standard3 Low Tom 1	Rooster
E5	44		Room Pedal Hi-Hat	Room Pedal Hi-Hat	Room Pedal Hi-Hat	Room Pedal Hi-Hat	Cow
F5	45		Standard3 Mid Tom 2	Standard3 Mid Tom 2	Standard3 Mid Tom 2	Standard3 Mid Tom 2	Dog
G5	46		Room Open Hi-Hat	Room Open Hi-Hat	Room Open Hi-Hat	Room Open Hi-Hat	Donkey
A5	47		Standard3 Mid Tom 1	Standard3 Mid Tom 1	Standard3 Mid Tom 1	Standard3 Mid Tom 1	Elephant
B5	48		Standard3 High Tom 2	Standard3 High Tom 2	Standard3 High Tom 2	Standard3 High Tom 2	Goat
C6	49		Standard3 Crash Cymbal 1	Standard3 Crash Cymbal 1	Standard3 Crash Cymbal 1	Standard3 Crash Cymbal 1	Horse
D6	50		Standard3 High Tom 1	Standard3 High Tom 1	Standard3 High Tom 1	Standard3 High Tom 1	Horse Gallop
E6	51		Standard3 Ride Cymbal 1	Standard3 Ride Cymbal 1	Standard3 Ride Cymbal 1	Standard3 Ride Cymbal 1	Lion Roar
F6	52		Standard3 China Cymbal	Standard3 China Cymbal	Standard3 China Cymbal	Standard3 China Cymbal	Nightingale
G6	53		Standard3 Ride Bell	Standard3 Ride Bell	Standard3 Ride Bell	Standard3 Ride Bell	Peacock
A6	54	←	←	←	←	←	Applause 3
B6	55	←	Standard3 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal	Footsteps
C7	56	←	←	←	←	←	Heartbeat
D7	57	←	Standard3 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2	Child Crying
E7	58	←	←	←	←	←	Child Laughing
F7	59	←	Standard3 Ride Cymbal 2	Standard3 Ride Cymbal 2	Standard3 Ride Cymbal 2	Standard3 Ride Cymbal 2	Man Laughing
G7	60	←	←	←	←	←	Punch
A7	61	←	←	←	←	←	Scream
B7	62	←	←	←	←	←	Roller Coaster
C8	63	←	←	←	←	←	Bike Vroom
D8	64	←	←	←	←	←	Car Passing
E8	65	←	←	←	←	←	Car Crash
F8	66	←	←	←	←	←	Car Engine Ignition
G8	67	←	←	←	←	←	Car Horn
A8	68	←	←	←	←	←	Jet Plane
B8	69	←	Ketipung L Dang Deng	←	Tablah 1	Ban Gu	Submarine
C9	70	←	Ketipung L Dang Deng Mute	←	Tablah 2	Hu Yin Luo	Car Tires Squeal
D9	71	←	Ketipung L Dang Dhuk 1	Tabla Ge	Tablah 3	Xiao Luo	Train
E9	72	←	Ketipung L Dang Dhuk 2	Tabla Ka	Daf 1	Xiao Bo	Buzzer
F9	73	Timbal Slap	Ketipung L Dang Dhuk 3	Tabla Te	Daf 2	Low Tang Gu	Coin
G9	74	Timbal Open	Ketipung L Dang Dhuk Fast	Tabla Na	Riq 1	Mid Tang Gu	Scratch
A9	75	Timbal Bass	Ketipung L Dang Dhuk Long	Tabla Tum	Riq 2	High Tang Gu	Shankh
B9	76	Timbal Muff	Ketipung L Dang Finger Rim	Dholak Ge	Riq 3	Gong 1	Clock Tick-tock
C10	77	Ganza	Ketipung L Dang Skin Left	Dholak Ke	Davul 1	Gong 2	Whistle 1
D10	78	Ganza Bottom	Ketipung L Dang Thumb Rim	Dholak Ta 1	Davul 2	Yun Luo F#	Whistle 2
E10	79	Triangle 3 Mute 1	Ketipung H Dut Plain Right Finger	Dholak Ta 2	Zill 1	Yun Luo G	Whistle 3
F10	80	Triangle 3 Mute 2	Ketipung H Dut Ket	Dholak Na	Zill 2	Yun Luo G#	Ambulance Siren
G10	81	Triangle 3 Open	Ketipung H Dut Pok	Dholak Ta 3	Yun Luo A	Yun Luo A	Blast
A10	82	Triangle 3 HalfMute	Ketipung H Dut Skin Right	Dholak Ring	Yun Luo A#	Yun Luo A#	Bar Chimes
B10	83	Pandeiro 2 P	Ketipung H Dut Tak	Midrangam Tha	Yun Luo B	Yun Luo B	Doorbell
C11	84	Pandeiro 2 D	Ketipung H Dut Tang	Midrangam Dhom	Yun Luo C+	Yun Luo C+	Door Slam
D11	85	Pandeiro 2 G	Ketipung H Dut Tex	Midrangam Dhi	Yun Luo C#+	Yun Luo C#+	Door Squeak
E11	86	Pandeiro 2 GDM	Ketipung H Dut Tung	Midrangam Dhin	Yun Luo D+	Yun Luo D+	Firework
F11	87	Pandeiro 2 Jingle	Rebana Hadroh D1	Midrangam Num	Yun Luo D#+	Yun Luo D#+	Gunshot
G11	88	Pandeiro 2 Jingle	Rebana Hadroh D2	←	Yun Luo E+	Yun Luo E+	Machine Gun
A11	89	Pandeiro 2 G/DM	Rebana Hadroh D&D	←	Yun Luo F+	Yun Luo F+	Police Siren
B11	90	Pandeiro 2 Jingle	Rebana Hadroh T1	Bhangra Aha	Yun Luo F#+	Yun Luo F#+	Telephone Call
C12	91		Rebana Hadroh T2	Bhangra Ashke	Yun Luo G+	Yun Luo G+	Telephone Ring
D12	92		Rebana Hadroh T&T	Bhangra Chakke	Yun Luo G#+	Yun Luo G#+	Temple Bell
E12	93			Bhangra Hoye	Yun Luo A+	Yun Luo A+	
F12	94			Bhangra Oho	Yun Luo A#+	Yun Luo A#+	
G12	95			Bhangra Oh-Balle	Yun Luo B+	Yun Luo B+	
A13	96			Bhangra Oh-Shava	Yun Luo C++	Yun Luo C++	
B13	97			Nagada Rim 1			
C14	98			Nagada Rim 2			
D14	99			Duffi Close			
E14	100			Duffi Open			
F14	101			Duffi Close 1			
G14	102			Duffi Close 2			
A15	103			Duffi Close 3			
B15	104			Duffi Open 1			
C16	105			Duffi Open 2			
D16	106			Duffi Jingle 1			
E16	107			Duffi Jingle 2			
F16	108			Dhol L			
G16	109		←	Dhol H			
A17	110		←	Dumru			
B17	111		←	Ghungroo 1			
C18	112		←	Ghungroo 2			
D18	113		←	Tasha 1			
E18	114		←	Tasha 2			
F18	115		←				
G18	116		←				
A19	117		←				
B19	118		←				
C20	119		←				
D20	120		←				
E20	121		←				
F20	122		←				
G20	123		←				
A21	124		←				
B21	125		←				
C22	126		←				
D22	127		←				

※“←”の鍵盤は、スタンダードセット 1 と同じ音です。

指定できるコード種一覧

フィンガード1、2で指定できるコード種

C (メジャー)	   
Cm (マイナー)	 
Cdim (ディミニッシュ)	
Caug (オーギュメント) ^{※3}	
C ^{b5} (フラットフィフス)	
Csus4 (サスフォー) ^{※3}	
Csus2 (サスツー) ^{※3}	
C7 (セブンス)	  
Cm7 (マイナーセブンス) ^{※3}	 
CM7 (メジャーセブンス)	  
CmM7 (マイナーメジャーセブンス)	 
Cdim7 (ディミニッシュセブンス) ^{※3}	 
CdimM7 (ディミニッシュメジャーセブンス)	
C7 ^{b5} (セブンスフラットフィフス) ^{※3}	
Cm7 ^{b5} (マイナーセブンスフラットフィフス) ^{※3}	
CM7 ^{b5} (メジャーセブンスフラットフィフス)	
Caug7 (オーギュメントセブンス)	
CaugM7 (オーギュメントメジャーセブンス)	
C7sus4 (セブンスサスフォー)	
C6 (シックス) ^{※1 ※3}	
Cm6 (マイナーシックス) ^{※2 ※3}	
Cadd9 (アドナインズ)	

Cmadd9 (マイナーアドナインズ)	
C69 (シックスナインズ) ^{※3}	
(マイナーシックスナインズ) ^{※3}	

※1 フィンガード2では、Am7として判別されます。

※2 フィンガード2では、Am7^{b5}として判別されます。

※3 転回形では使えない場合があります。

※4 正しいコード演奏ではなく、自動伴奏機能での簡易的にコードを指定できる特殊な押え方です。

フィンガードオンベース、フルレンジコードで指定できるコード種

フィンガード1、2で指定できるコード種に加え、下記のコード種が判別できます。

C [#]	D	F	F [#]	G	A ^b	A	B ^b	C [#] m	Dm	Fm
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
F [#] m	Gm	A ^b m	Am	B ^b m	Bm	C [#] dim	Ddim			
C	C	C	C	C	C	C	C			
Fdim	F [#] dim	Gdim	A ^b dim	Adim	Bdim	F7	A ^b 7			
C	C	C	C	C	C	C	C			
Fm7	FM7	A ^b M7	F [#] m7 ^{b5}	Gm7	G7	A ^b add9				
C	C	C	C	C	C	C	C			

メモ

- フィンガードオンベースでは、最低音がベース音として判別され、転回形は使えません。
- フルレンジコードでは、最低音とその次の音がある程度離れている場合に、分数コードとして判別されます。
- フルレンジコードではフィンガード1、フィンガード2、フィンガードオンベースと異なり、鍵盤を3つ以上押したときに限りコードが指定されます。

コード例一覧

*1 *2	C	C $\sharp$ /(D $\flat$)	D	(D $\sharp$)/E $\flat$	E	F	F $\sharp$ /(G $\flat$)	G	(G $\sharp$)/A $\flat$	A	(A $\sharp$)/B $\flat$	B
M												
m												
dim												
aug												
sus4												
sus2												
7												
m7												
M7												
m7 $\sharp$ 5												
7 $\flat$ 5												
7sus4												
add9												
madd9												
mM7												
dim7												
69												
6												
m6												

*1 根音 (ルート) *2 コードの種類
• スプリットポイントを変更して、コード入力鍵盤の範囲を変えます (12ページ)。

MIDI インプリメンテーション・チャート

ファンクション	送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	1 ~ 16 1 ~ 16	1 ~ 16 1 ~ 16	
モード 電源ON時 メッセージ 代 用	モード3 X *****	モード3 X *****	
ノート ナンバー	12 ~ 120 *****	0 ~ 127 0 ~ 127 *1	
ベロシティ	○ 9nH v = 1 ~ 127 ○ 8nH v = 0 ~ 127	○ 9nH v = 1 ~ 127 ○ 8nH v = 0 ~ 127, 9nH v = 0	
アフター タッチ	X X	X ○	
ピッチベンド	X	○	
コントロール チェンジ	0 1 5 6, 38 7 10 11 64 65 66 67 71 ○ X X X ○ X X X ○ X X *2 *4 *4 *4 *3 *3 *3 *4	*2 ○○○○○○○○○○○○○○	バンクセレクト モジュレーション ポルタメント・タイム テータエントリー LSB, MSB ポリフェーム パン エクスプレッション ホールド1 ポルタメント・オン/オフ ソステヌート ソフト フィルタ・レゾナンス

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

© MA1909-B Printed in China



LK512-JA-1B

© 2019 CASIO COMPUTER CO., LTD.